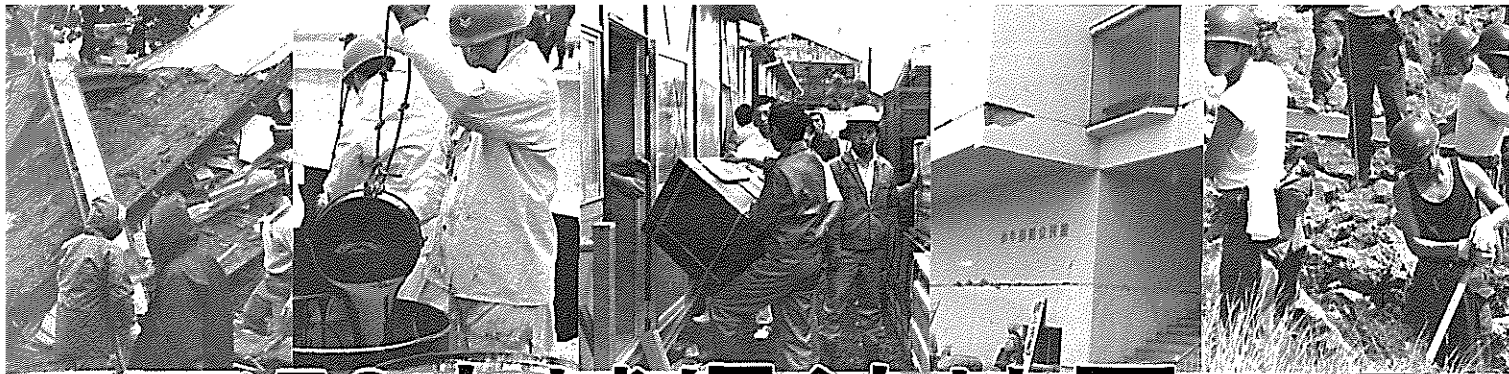


'78宮城県沖地震

公共土木施設等被災写真集



宮城県土木部



'78宮城県沖地震

公共土木施設等被災写真集

68 0750

災害派遣



宮城県土木部



地震のあと早々被災地を視察する政府調査団

はじめに

気象庁が「1978年宮城県沖地震」と名付けた地震は、震度5の強震、マグニチュード7.4の規模をもって東北・関東地方を大きく揺さぶり、本県の特に関東市及びその周辺に甚大な被害をもたらした。

本県においては、27人の尊い人命と2,687億にのぼる貴重な財産とを一瞬のうちに奪い去った。

全半壊した建物、倒壊したブロック塀、深くうつろに口をあける道路など、何んの予告もなく突如襲いくる地震の恐しさを身をもって体験した。

地震災害のすさまじさや悲惨さをそのままの形で再現することは、むずかしいが、できるだけ生の形で記録にとどめたいと思ってこの写真集を企画した。

この小冊が、この姉妹編として企画した「1978年宮城県沖地震—公共土木施設等被災報告書」とともに今後における地震対策の一助ともなれば望外の喜びである。

昭和54年 3月

宮城県土木部長

小 林 郁 夫

目 次

はじめに

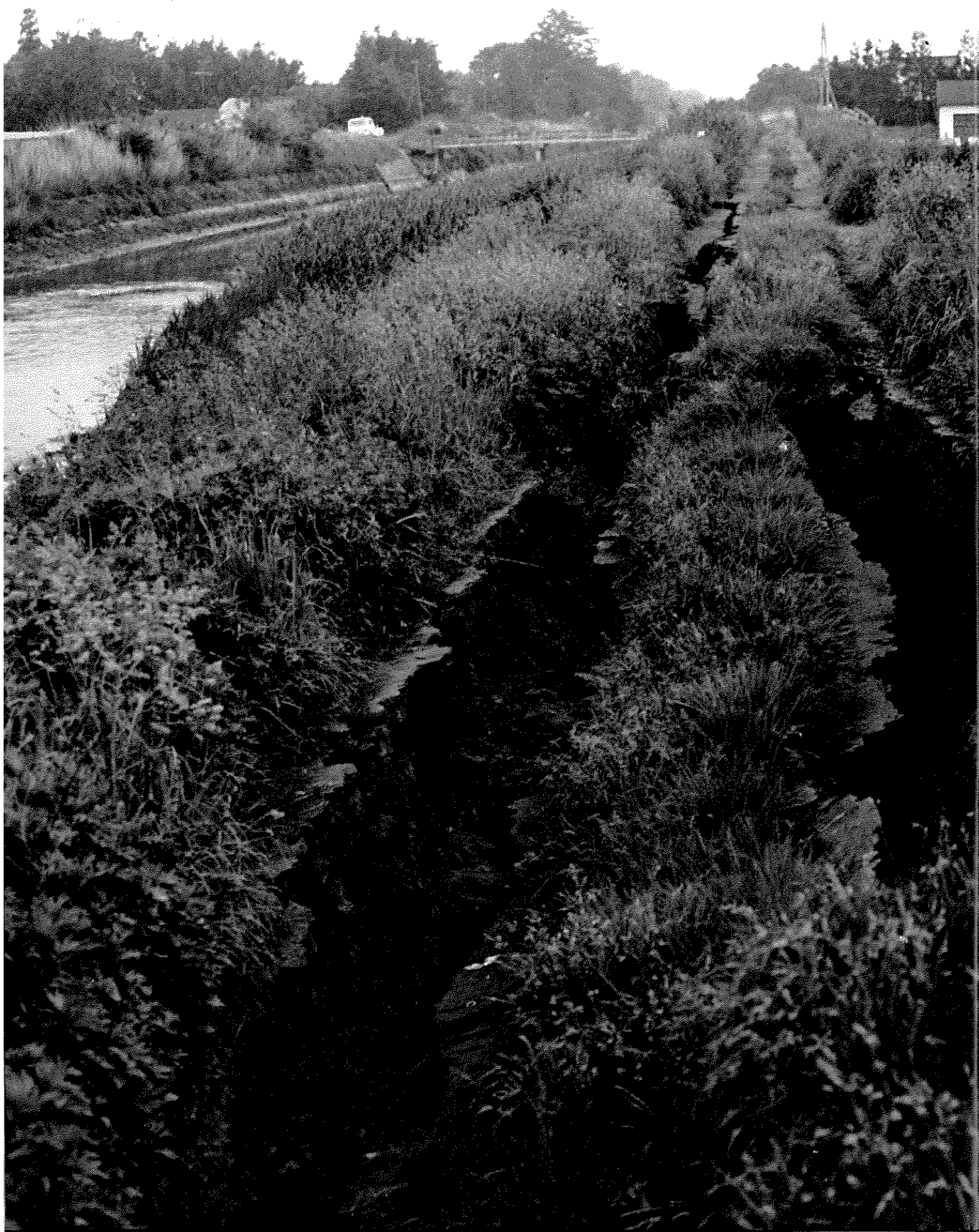
- 1 . 1978年宮城県沖地震概要…………… 9
- 2 . 道路橋梁編……………13
- 3 . 河川・海岸編……………33
- 4 . 港湾・漁港編……………53
- 5 . 都市施設編……………59
- 6 . その他編……………65

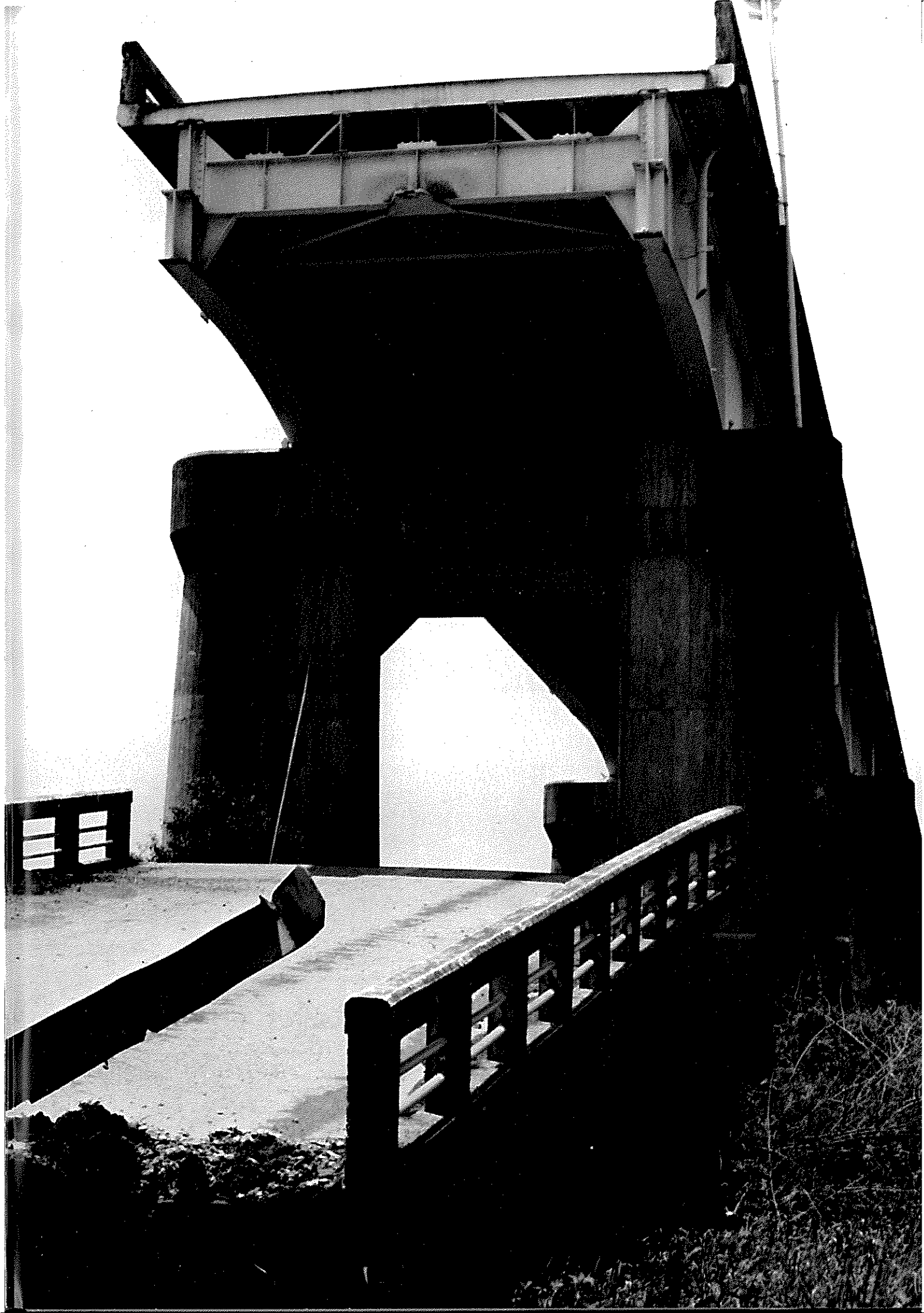


道路に生じた大きい亀裂と路面の沈下。一般県道・北上河北線（北上川護岸兼用堤）

定川堤防に走る亀裂。亀裂幅0.6m、深さ1.6m 堤防沈下量は
1.2mにも達した（矢本中区）

落橋。国道346号の北上川に架かる錦桜橋で右岸から
第8スパンゲルバー吊桁一連が落下







松島町の崖崩れ。6000㎡の土砂が崩壊し住宅4戸が被災重傷者1名が出た

1. 1978年宮城県沖地震概要

仙台管区気象台

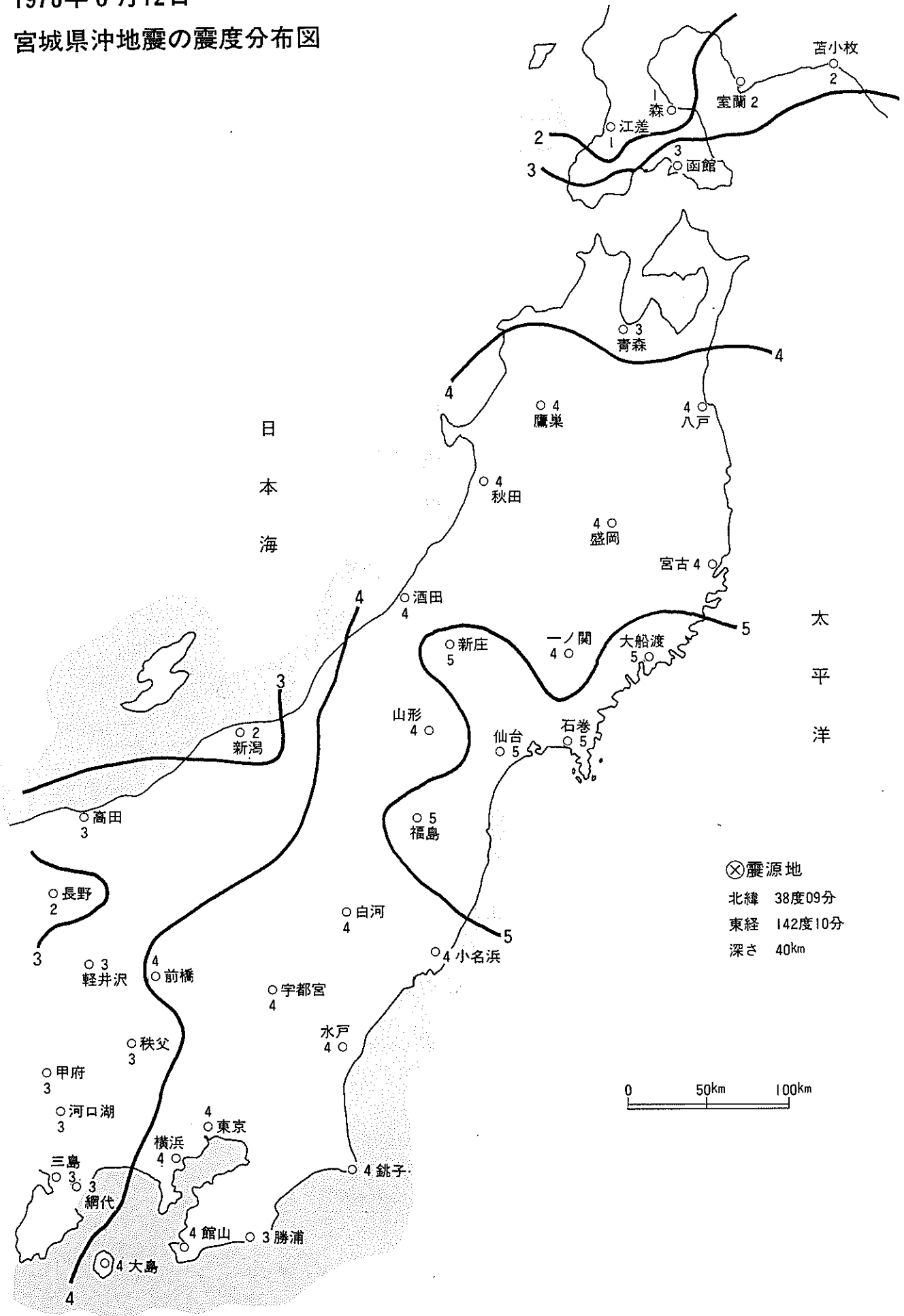
発生日時 昭和53年 6 月12日17時14分
震源地 北緯38度09分 東経142度10分 深さ40km
規模 マグニチュード 7.4

17 時 21 分	東北太平洋沿岸に津波警報発表。
17 時 33 分 (地震・津波 情報)	各地の震度 5：仙台、大船渡、福島 4：前橋、東京、秋田、八戸、小名浜、盛岡、大島、酒田、館山、 宇都宮、水戸 3：青森
18 時 00 分 (津波情報)	17時36分、鮎川で津波第1波を観測。 波高15cm、引き続き嚴重警戒を要す。
18 時 11 分 (地震・津波 情報)	17時42分、宮古で津波第1波を観測。 太平洋沿岸の満潮は20時25分(鮎川)13分(宮古)なので引き続き警戒を要す。
18 時 40 分 (地震・津波 情報)	太平洋沿岸に高さ15～20cm程度の津波が来襲しています。引き続き警戒し て下さい。 余震は18時28分まで19回を観測。マグニチュードは7.4と推定され、宮城県 内では被害(死者3、家屋倒壊、火災、崖くずれ)が発生しました。
19 時 59 分 (津波情報)	太平洋沿岸の各地で津波が観測されました。 小名浜 18時19分 13cm 宮 古 17時57分 18cm 鮎 川 18時00分 17cm 八 戸 19時28分 16cm 大船渡 18時04分 12cm

20 時 35 分 (地震情報)	各地の震度は次のとおりです。 5：大船渡、仙台、石巻、福島、新庄 4：秋田、鷹巣、白河、一ノ関、山形、八戸、盛岡、酒田、小名浜 宮古、前橋、東京、銚子、帯広、横浜、大島、館山、宇都宮、水戸 3：青森、静岡、甲府、網代、三島、勝浦、河口湖、秩父、高田、 軽井沢、函館、根室、釧路、広尾、浦河 2：新潟、輪島、長野、相川、名古屋、飯田、諏訪、彦根、津、札幌、 岩見沢、苫小牧、室蘭 1：八丈島、浜松、敦賀、三宅島、御前崎、豊岡、西郷、留萌、森町 江差、網走、旭川、松本
20 時 46 分	20時津波警報解除。
21 時 35 分 (地震・津波情報)	17時14分の地震以後余震が続いていますが 大船渡で観測した余震は 17時49分：1 18時08分：1 18時13分：2 18時19分：1 18時40分：3 18時52分：1 20時09分：1 20時14分：2 各地の津波（20時～21時） 宮古 20時20分 7 cm 八戸 20時05分 18cm 大船渡 20時51分 12cm 鮎川 20時15分 4 cm

1978年 6 月12日

宮城県沖地震の震度分布図



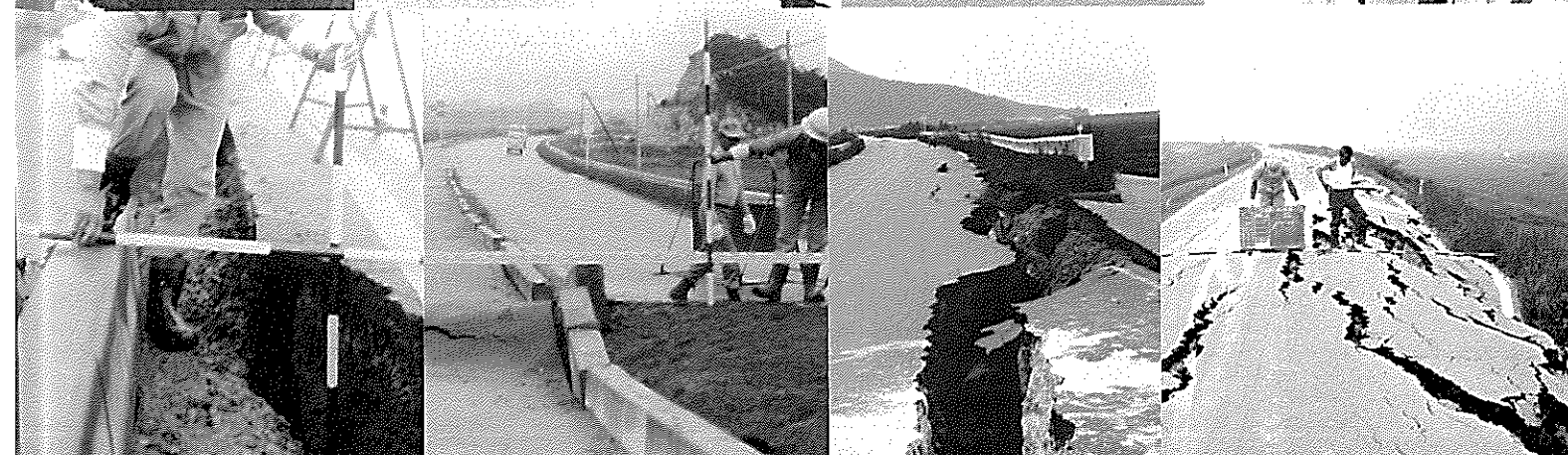
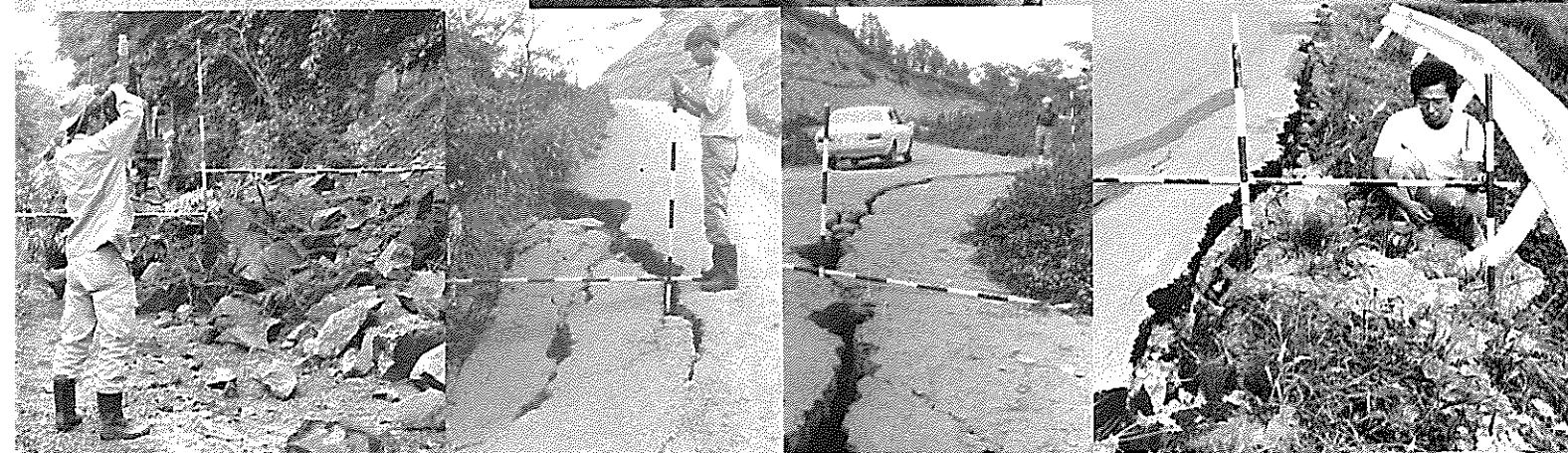
仙台で観測した震度4以上の地震

仙台管区气象台

仙 震 台 の 度	発 震 時				震 源 地					記 事
	年	月	日	時 分	北 緯	東 経	深さ	規模	地 域 名	
4	1927	1	18	06.58	38½	142.0	30	6.1	宮城県沖	震害なし
4	1927	8	6	06.13	38.0	142.0	20	6.9	宮城県沖	石巻で家屋小破、渡波で学校の壁に亀裂、涌谷で亀裂から水噴き出す。福島県でも小被害、塩釜で15cmの津波あり
5	1933	3	3	02.31	39.1	144.7	0~20	8.3	三陸はるか沖	震害は壁に亀裂が入った程度だが、大津波来襲、三陸沿岸で大被害、死者3,008人 流失家屋4,917戸、津波、白浜で23m
4	1933	6	19	06.37	38.10	142.35	20	7.1	宮城県沖	石巻で山崩れ、万石浦で道路の亀裂あり
5	1936	11	3	05.46	38.2	142.2	50~60	7.7	宮城県沖	県内で負傷4名、全壊非住家3、半壊住家2、道路欠損35ヶ所、宮城、福島沿岸で互、壁、道路の亀裂ところどころ 女川で0.9mの小津波
4	1937	7	27	04.56	38.2	142.0	50	7.2	宮城県沖	石巻で水道管一部破損、道路亀裂、石灯ろう倒壊
5	1938	11	5	17.43	37.1	141.6	20	7.7	福島県沖	大地震があいつぐ、震害は少なく、福島県東部の各地で小被害 福島県で死者1、負傷9、住家全壊4、半壊29、非住家全半壊58 その他がけ崩れ、道路の亀裂、宮城県内にも小被害あり。津波鮎川で5日17時104cm、6日17時124cm、 7日6時39分124cm、小名浜107cm、38cm、50cm
5	1938	11	5	19.50	37.3	141.7	15	7.6	福島県沖	
4	1938	11	6	17.54	37.5	141.8	0	7.5	福島県沖	
4	1942	2	21	16.07	37.5	142.0	60	6.6	福島県沖	遠刈田発電所のコンクリート堤防亀裂入る
4	1953	11	26	02.49	34.3	141.8	40~60	7.5	千葉県沖	伊豆半島、房総半島に小被害、銚子付近で2~3mの津波、三陸沿岸は被害なし
4	1959	1	22	14.10	37.55	142.35	30	6.8	福島県東方はるか沖	津波なし、震害なし
4	1959	1	24	14.08	37.35	141.2	80		福島県東方はるか沖	津波なし、震害なし
4	1962	4	12	09.52	37.58	142.49	40	6.8	福島県沖	震害なし、小津波、鮎川全振巾55cm、小名浜30cm、八戸20cm、被害なし
4	1962	4	30	11.26	38.44	141.08	0	6.5	宮城県北部	田尻町、南方村で被害大、県内で死者3、負傷272、家屋全壊340、半壊1,114、瀬峰で貨車脱線てんぷく
4	1963	8	15	15.11	37.40	141.57	40	6.6	福島県沖	検潮器に小津波記録
5	1964	6	16	13.01	38.21	139.11	40	7.5	新潟県沖	新潟、山形県を中心に9県で被害、死者26、負傷447、全壊家屋1,960、半壊6,640、宮城県内住家一部破損13、がけ崩れあり
4	1967	1	17	20.59	38.15	142.05	30	6.3	宮城県沖	津波なし、震害なし
4	1970	9	14	18.45	38.41	142.20	40	6.2	宮城県沖	津波なし、震害なし
4	1977	6	8	23.26	38.28	141.40	70	5.8	宮城県沖	女川町江の島で小被害
4	1978	2	20	13.37	38.6	142.5	40	6.8	宮城県沖	宮城、岩手、山形県に被害、負傷34、住家破損26、道路損壊33

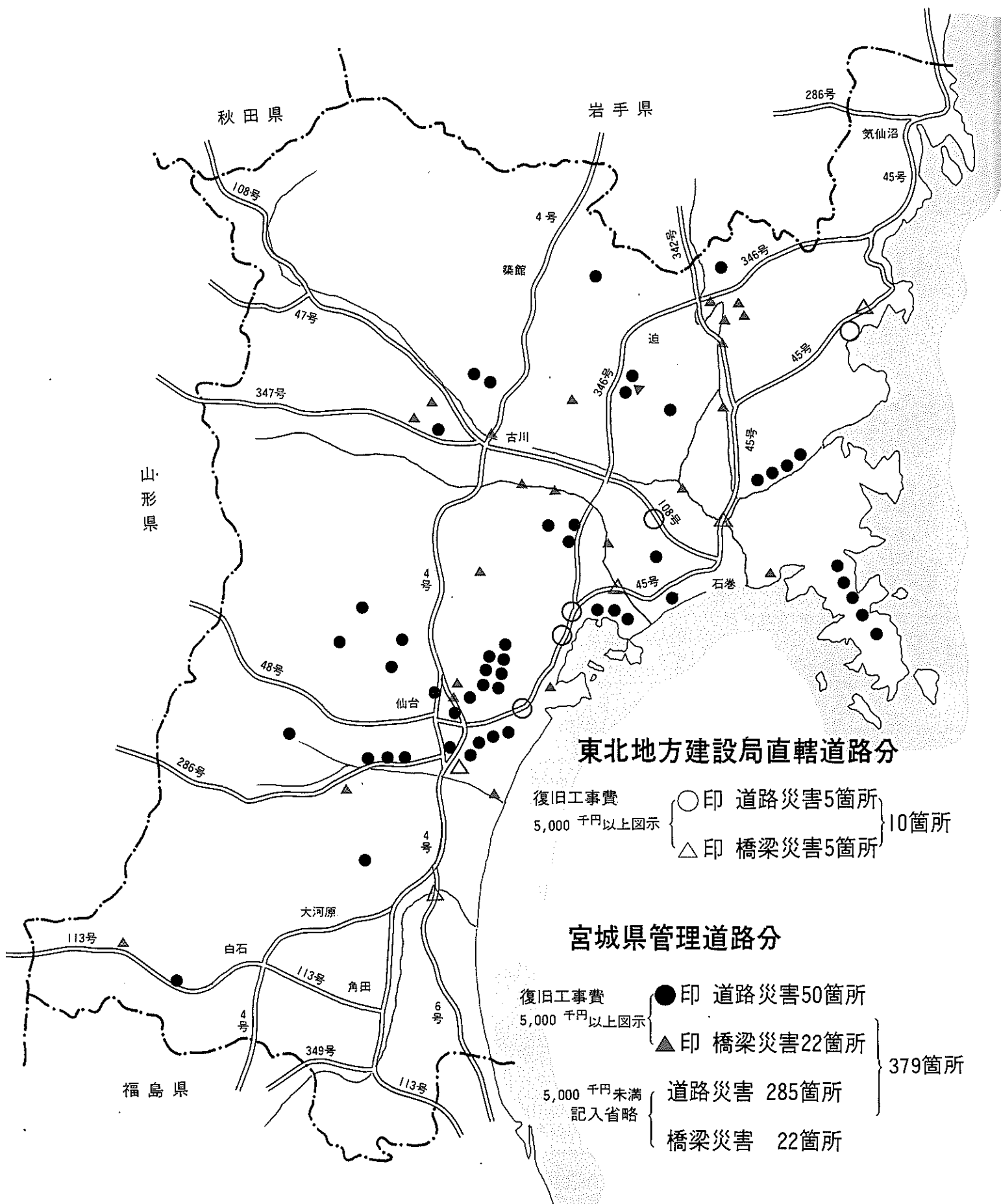


2 道路橋梁編



道路・橋梁の主なる被害箇所図 (5,000 千円以上)

公共土木・災害復旧事業分



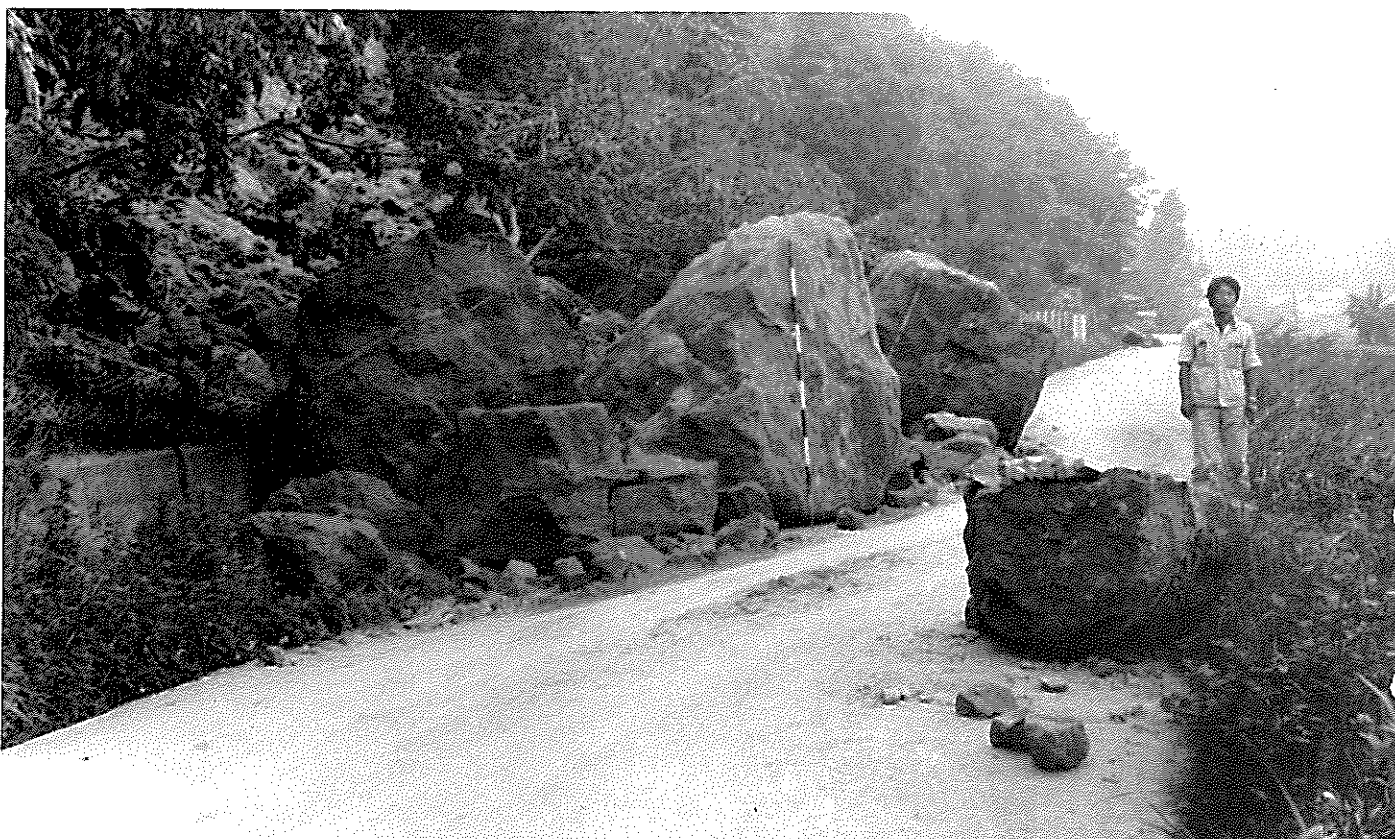


落石と崩土による通行止。国道286号（仙台市羽黒堂）

崩土のため片側通行。主要地方道・奥松島松島公園線（松島町古浦）



崩落した岩塊による通行止。一般県道・粕川幡谷線（大郷町不來内）



路面全巾の崩土。直ちに応急復旧にかかる。
一般県道・薄衣東和線（東和町二良根）



道路の亀裂・沈下が断続し、この区間で実延長653 m が被災した。
一般県道・大郷利府線（利府町森郷）

同 左（利府町森郷）

路面亀裂と路肩崩壊。一般県道 古川岩出山線（古川市川熊）



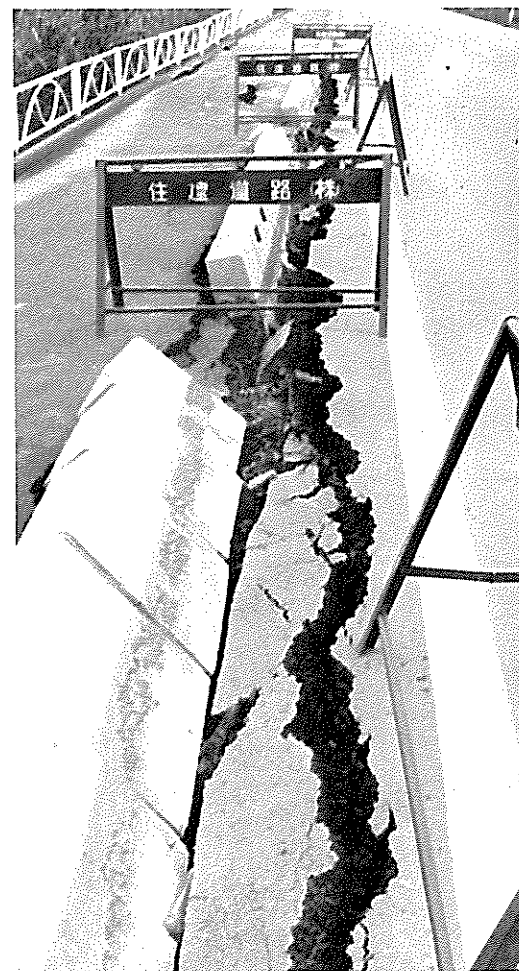
路肩及び法面のすべり崩壊。一般県道・牡鹿半島公園線（女川町小乗）



路体が沈下、すべりを起こし舗装に亀裂が入る。主要地方道・大和松島線（大和町大平）



道路の亀裂と歩道部の沈下。主要地方道・奥松島松島公園線（松島町北の窪）



歩道部の沈下と歩車道境界ブロックの破壊。主要地方道・塩釜吉岡線（大和町山田）



舗装道路中央にも亀裂が走る。国道286号（仙台市砂押）

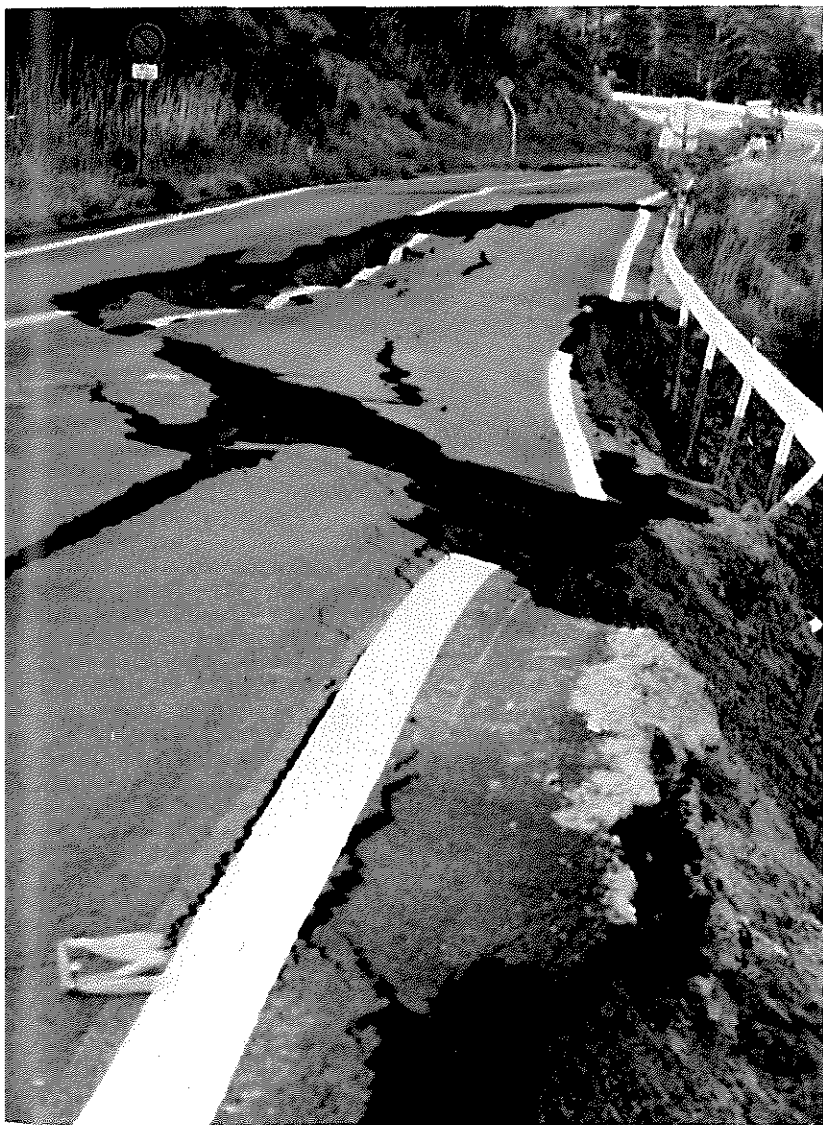


隆起、沈下により波打つ道路。主要地方道・奥松島松島公園線（松島町北の窪）

大きな裂け目が出来て、道路全体が沈下した北上川左岸の兼用堤。
一般県道・北上河北線（河北町牧野集）



道路全面の亀裂と沈下、崩壊、北上川左岸の兼用堤。
一般県道・北上河北線（河北町牧野巣）



舗装道の亀裂と段差。一般県道・牡鹿半島公園線
（牡鹿町給分浜）



道路の崩壊。一般県道・牡鹿半島公園線（牡鹿町新山浜）

亀裂と沈下、崩壊が連続した道路。一般県道・仙台亘理自転車道（仙台市井上）



国道4号(仙台バイパス)の路肩部陥没状況（仙台市小鶴） 路側歩道階段の破壊。一般県道・荒浜原町線（仙台市宮城野原）



路側擁壁(ブロック積)の倒壊による歩道被災。主要地方道・古川登米線(迫町天形)



歩道の亀裂と沈下。主要地方道・塩釜吉岡線(大和町落合)



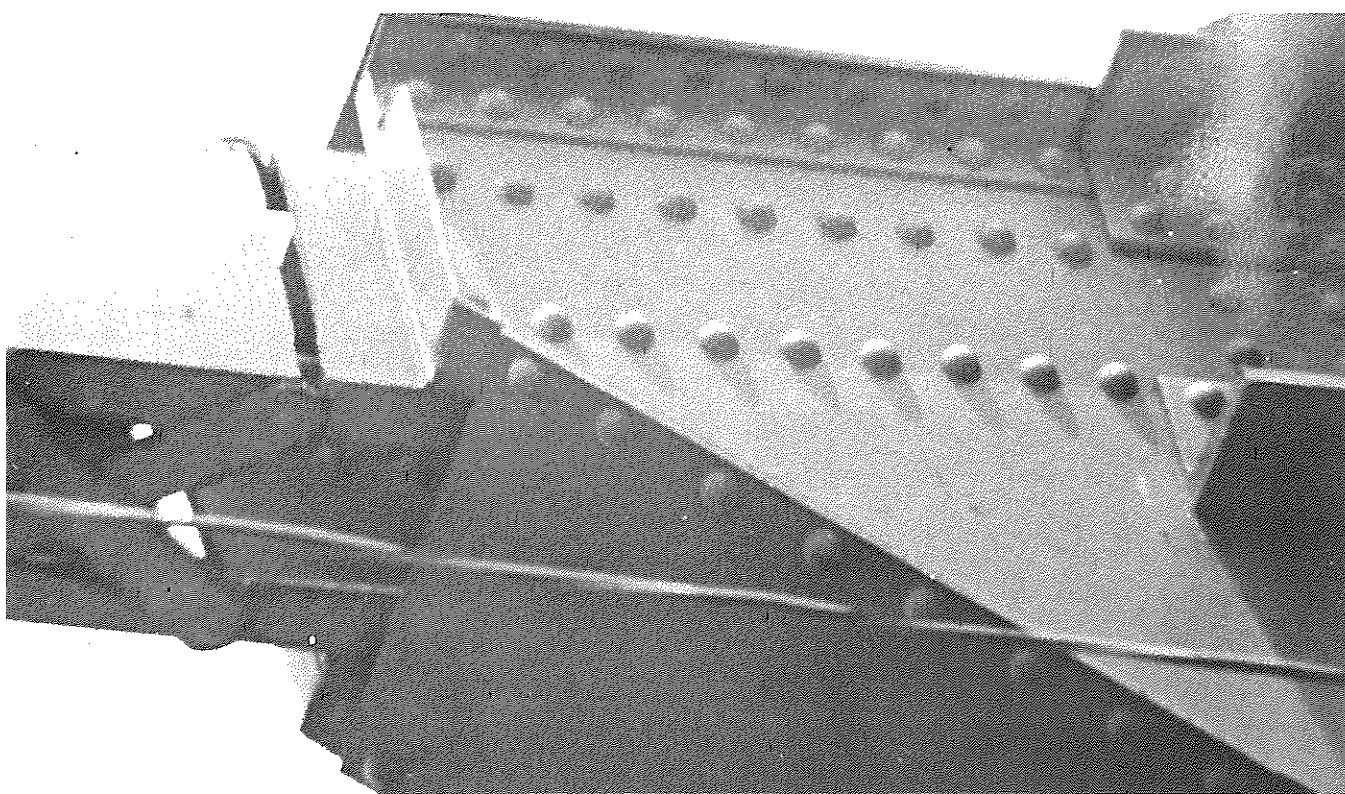
錦桜橋。右岸から第八径間のゲルバー吊桁一連が落橋。
これより右岸寄りの七径間が右岸側に変位したため。国道三四六号（中田町・東和町）



錦桜橋。右岸橋台の沓座コンクリート破壊及びアンカーボルトの抜け出し状況。



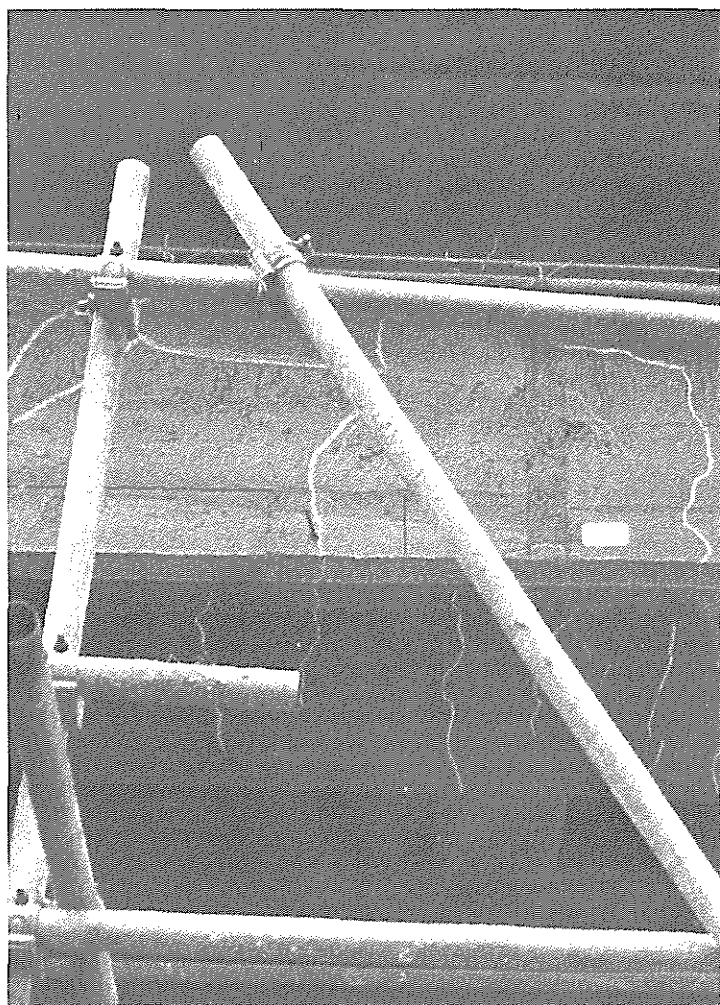
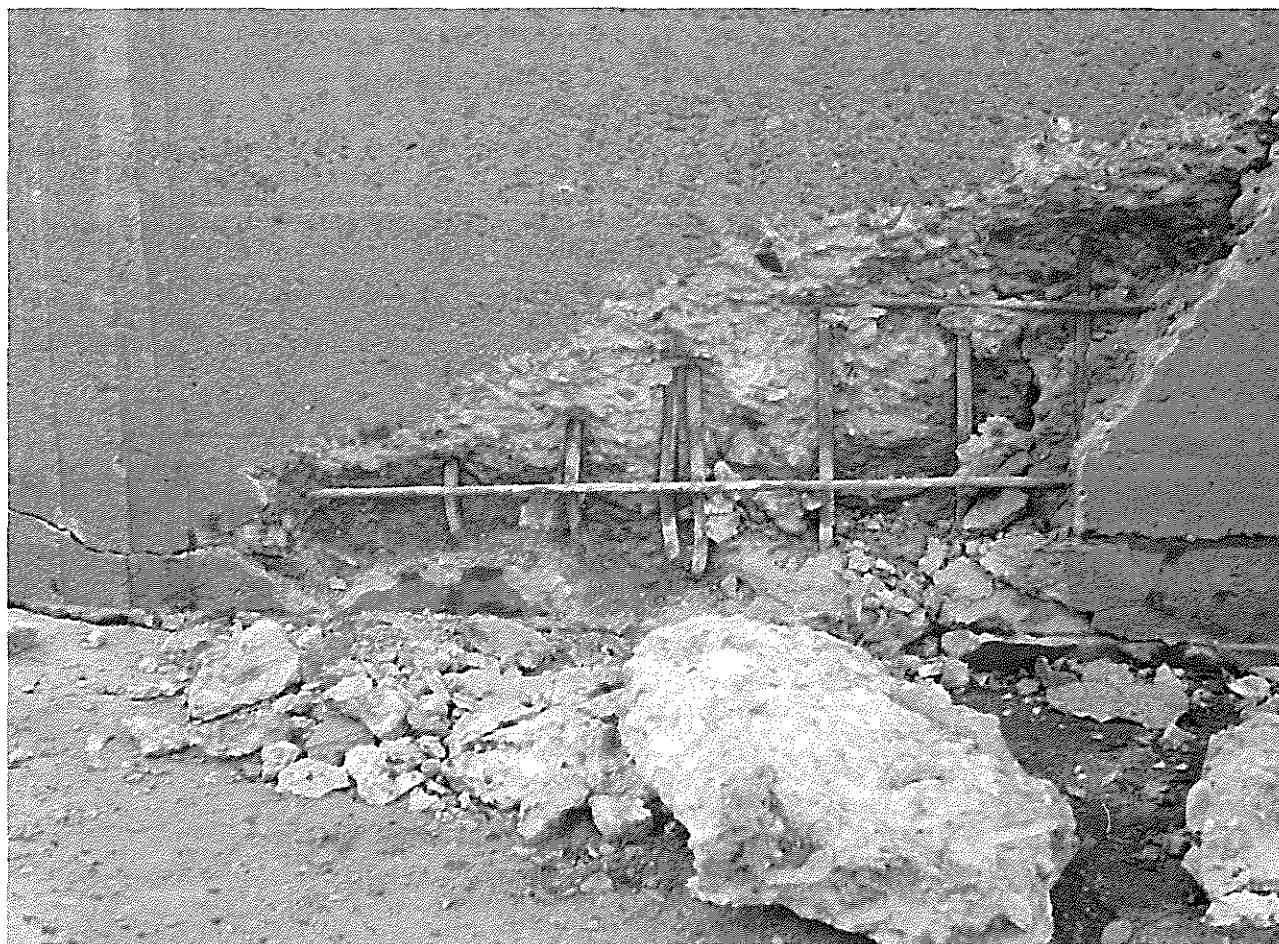
米谷大橋。トラス上弦機(右岸寄り上流側)の切断状況。
主要地方道・湯沢築館志津川線(中田町・東和町)



米谷大橋。P1固定沓のズレ及びセンターピンの抜け出し。ナット部は破断した。



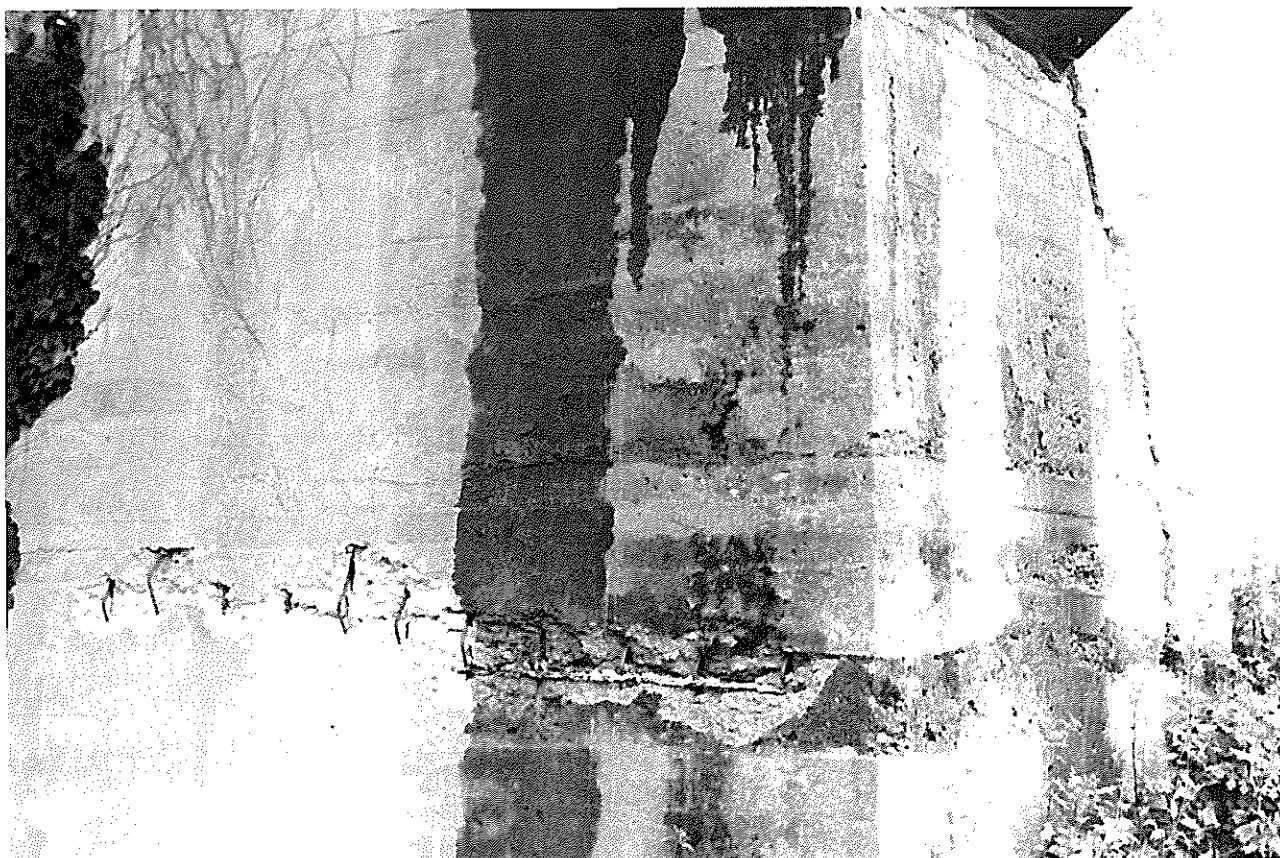
登米大橋。左岸第一橋脚下部コンクリートの破壊状況。
国道三四二号（登米町三日町～日根牛）



登米大橋。上部工、鉄筋コンクリートT桁の亀裂状況



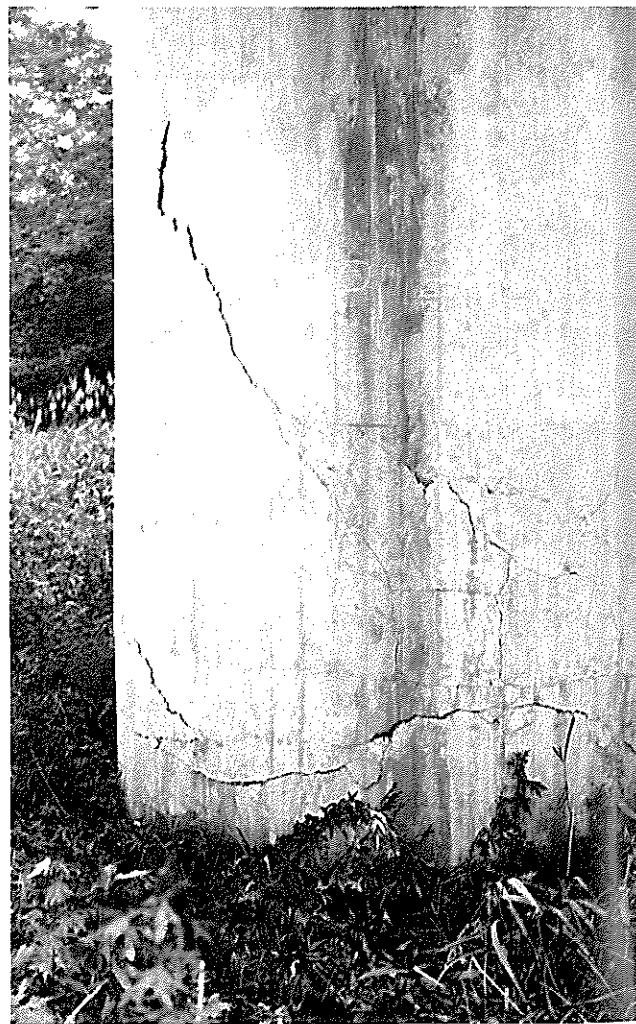
柳津大橋。第1橋脚上流側、沓附近のトラス下弦機の破断。一般県道・河南津山線（津山町柳津）



七北田橋。右岸橋台の破壊状況。主要地方道・仙台泉線（泉市七北田）

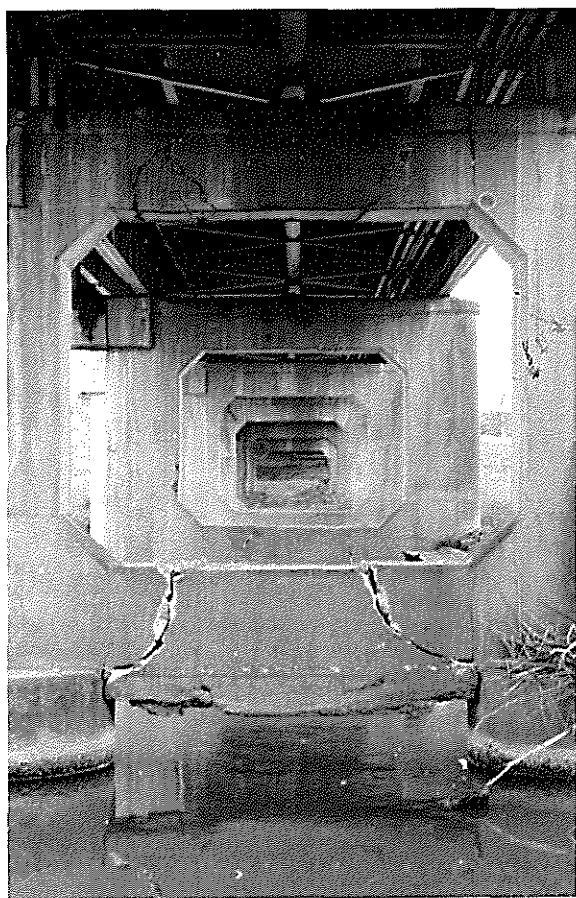


豊里大橋。第3橋脚、上流沓座コンクリートの破壊状況。
主要地方道・河南米山線（豊里町赤生津）

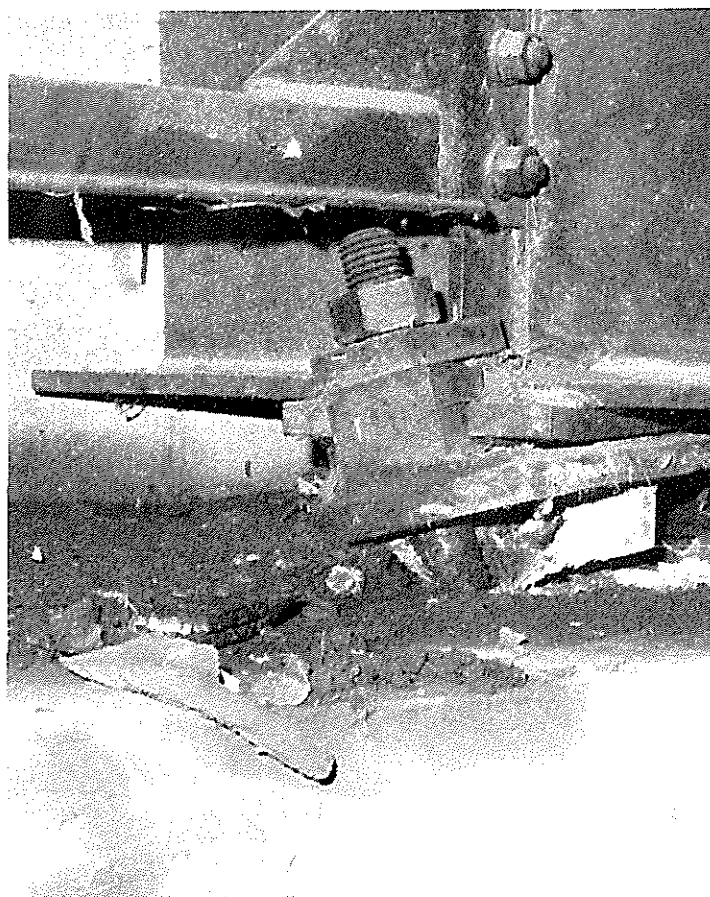


関上大橋。第1橋脚がせん断破壊し、亀裂が発生した。主要地方道・塩釜亘理線（仙台市・名取市）

品井沼大橋。左岸橋台袖コンクリートの破損。国道三四六号（松島町幡谷）



江合橋。8基の橋脚のすべての横梁がせん断破壊された。主要地方道・古川佐沼線（古川市休塚）



八乙女橋。橋台沓の破損。一般県道・根白石塩釜線（泉市八乙女）



木間塚橋。橋脚破損のため上部工が沈下し段差が生じた。主要地方道・石巻鹿島台大衡線（南郷町・鹿島台町）

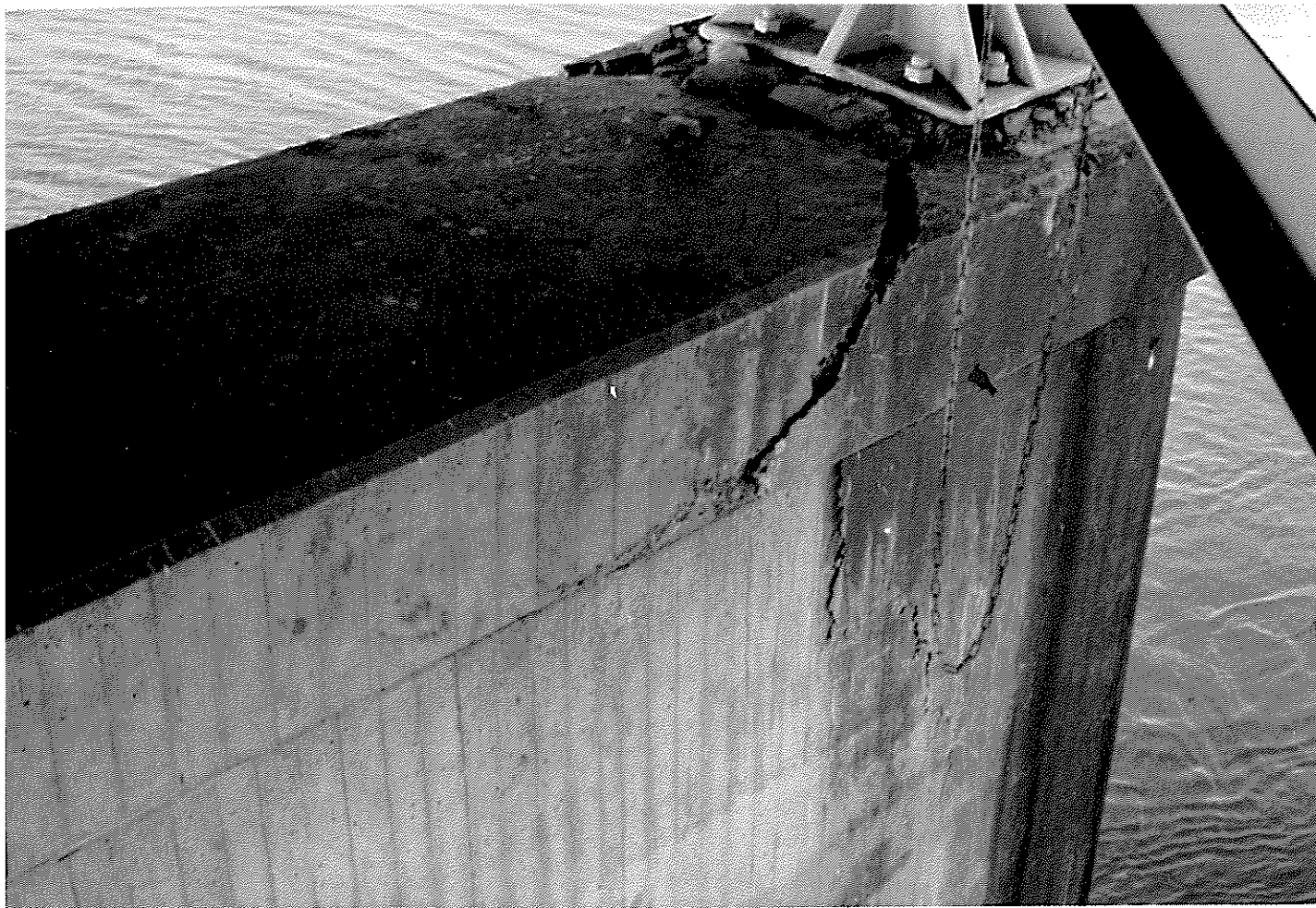


木間塚橋。橋脚の沓座コンクリートの破壊状況。

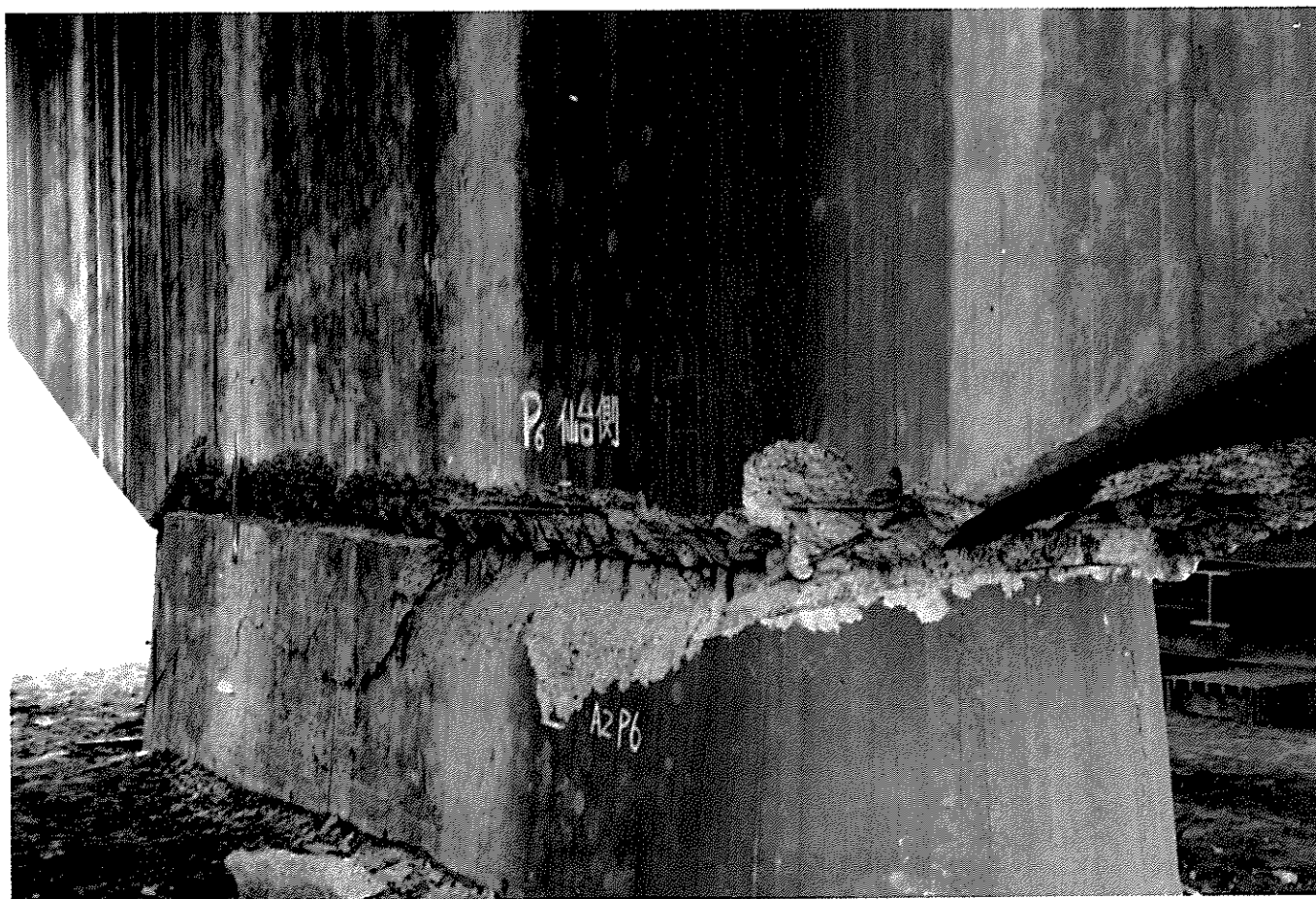
志田橋。橋脚頭部の破壊状況。一般県道・古川松山線（古川市・松山町）



阿武隈橋。橋脚のコンクリート剝離と鉄筋座屈。国道6号線（岩沼市・亘理町）



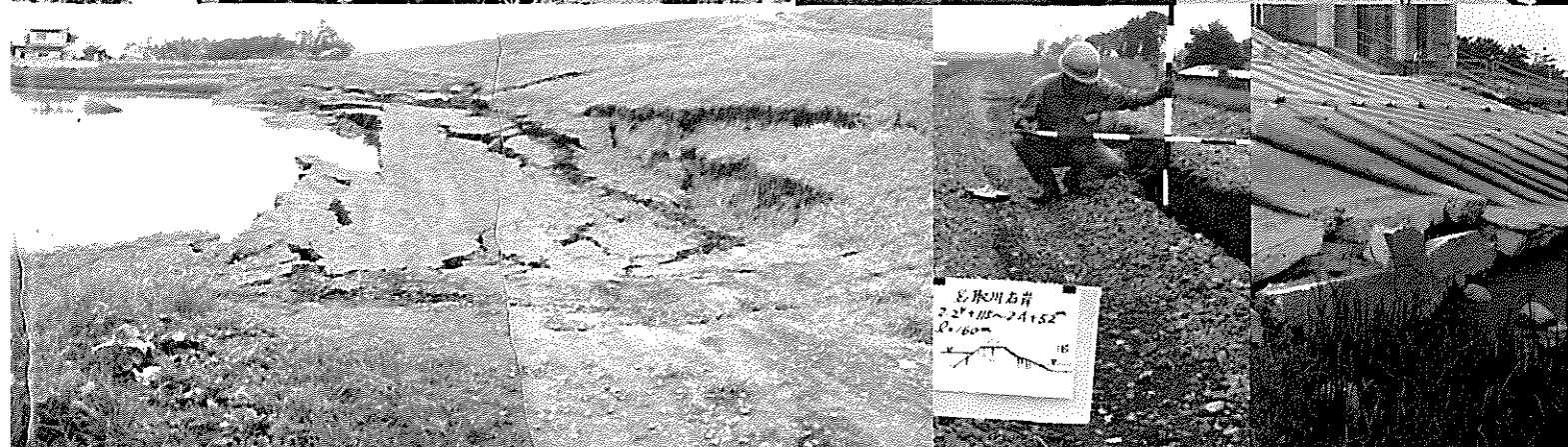
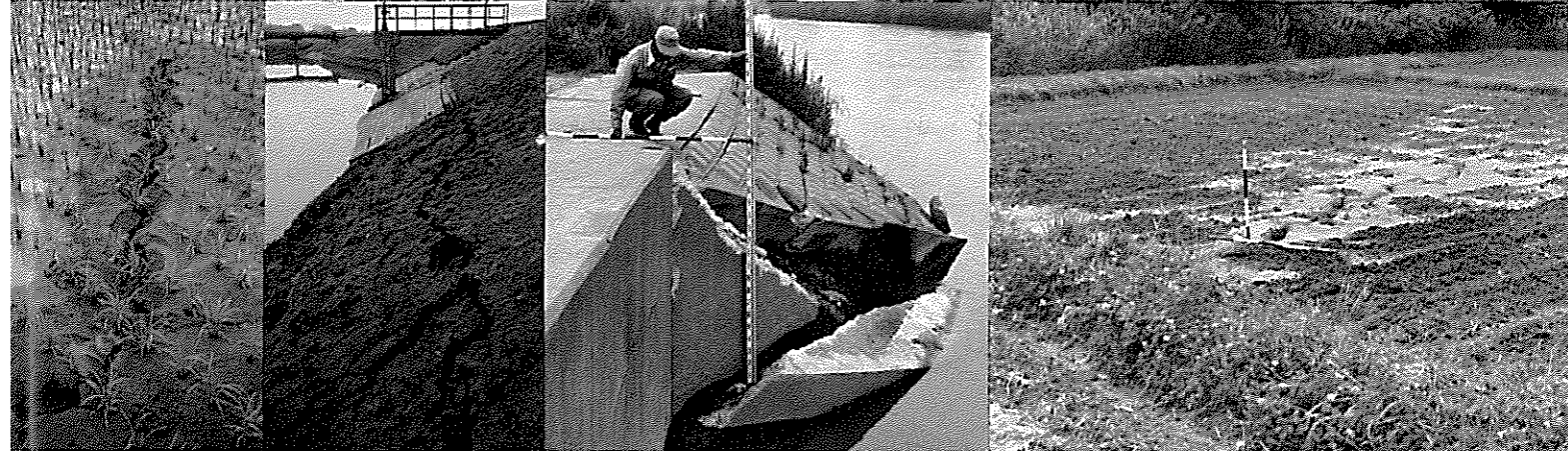
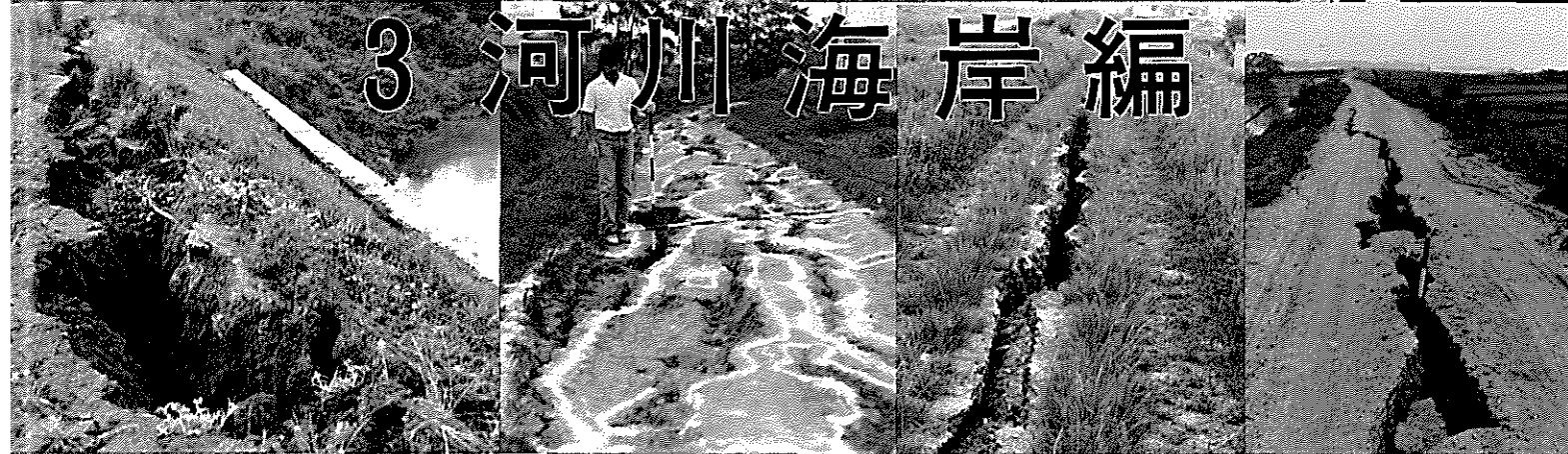
天王橋。橋脚頭部沓座付近の破壊。国道45号線（桃生町・河南町）



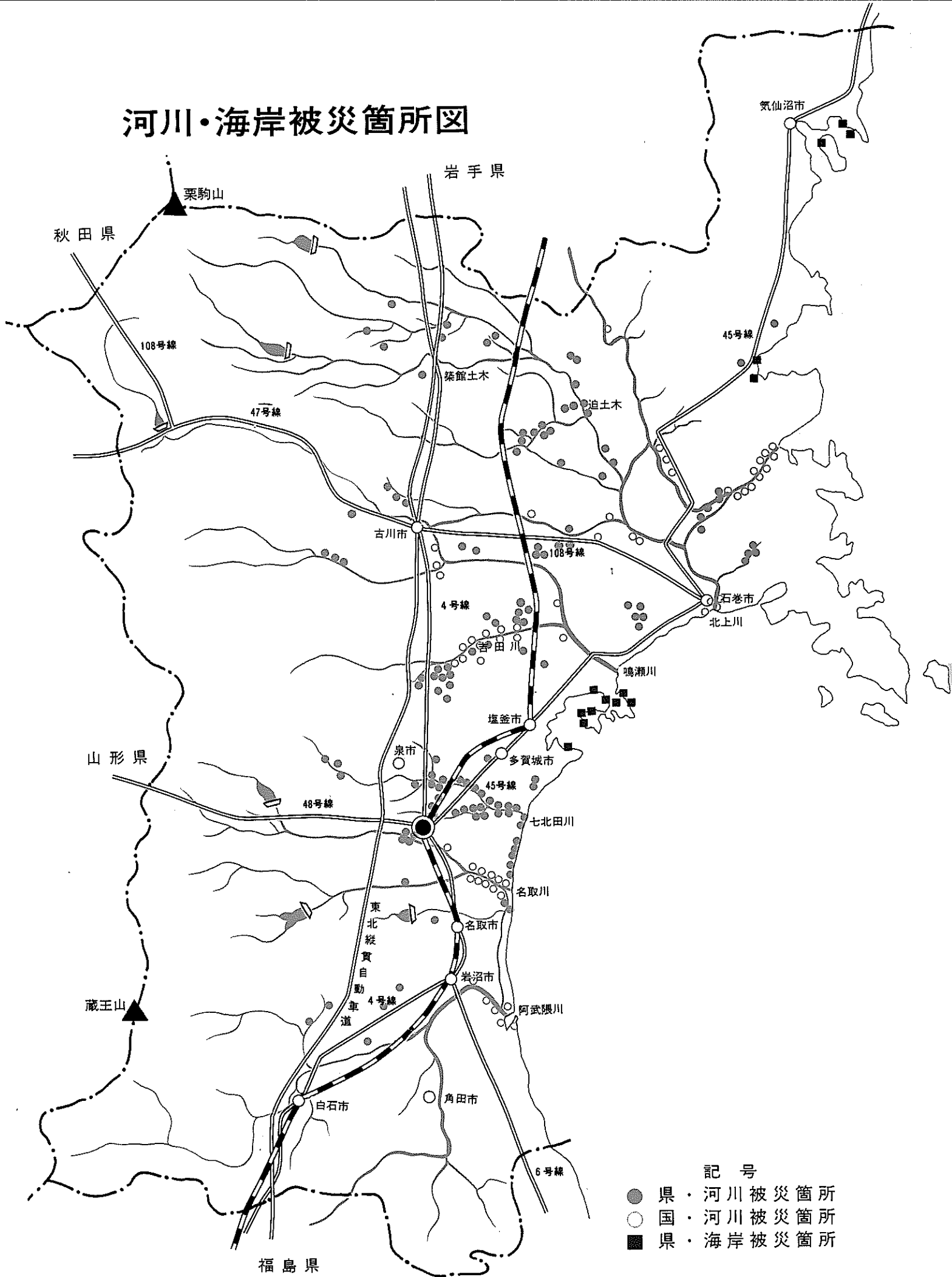
千代大橋。橋脚上部(断面変化部)のコンクリート剝離と鉄筋座屈。



3 河川海岸編



河川・海岸被災箇所図



出来川のコンクリート板柵工護岸が延べ一五〇〇mにわたって傾倒した。(古川市桑針)



同 上 (古川市桑針)

(七北田川左岸・仙台市向田)
縦断亀裂の入った県道との兼用堤防。



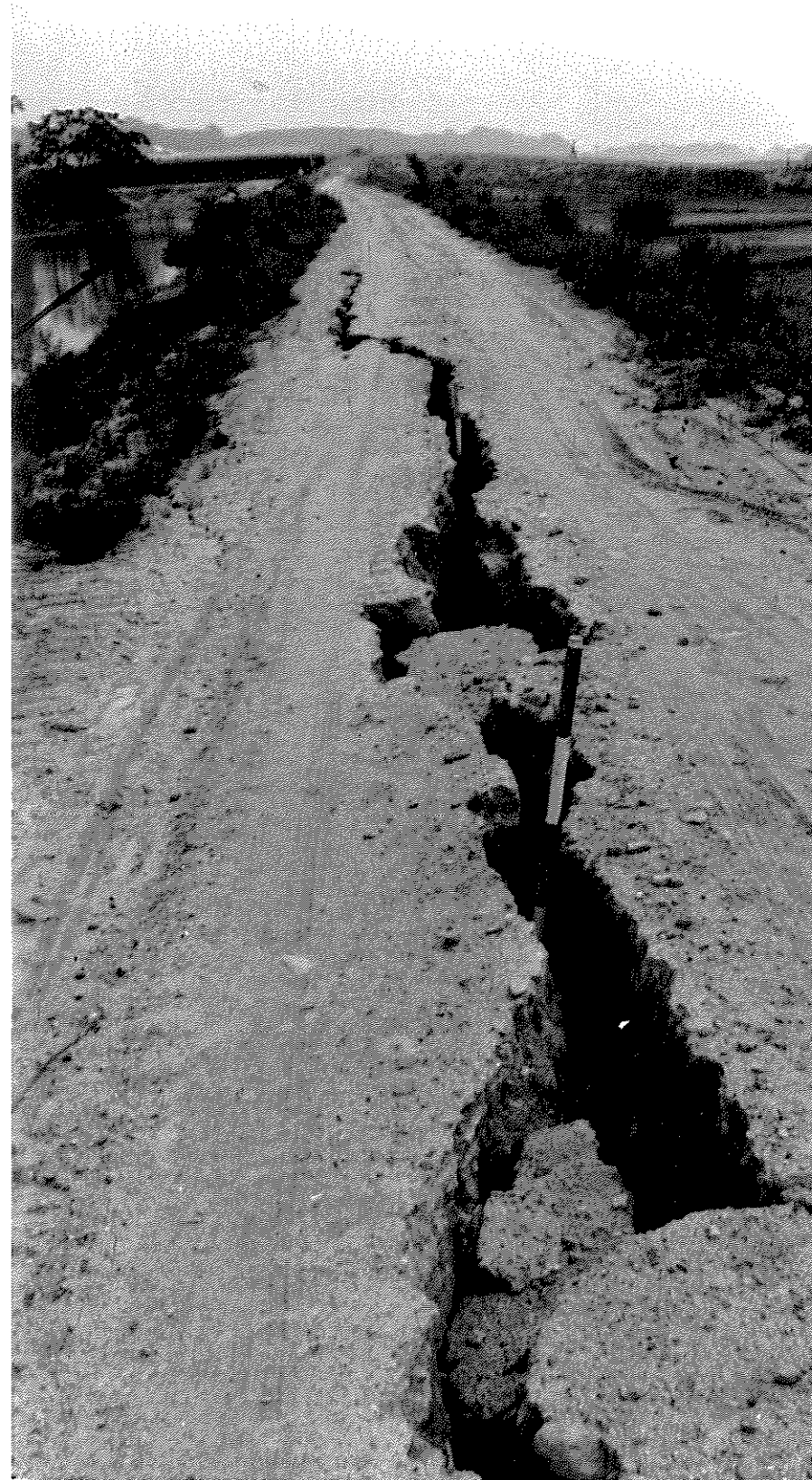
高城川トンネル



3層から6層のレンガで巻いた河川トンネル覆工部の亀裂と崩落（高城川・松島町泉ヶ原）



同 上（高城川・松島町泉ヶ原）



亀裂の深さは2 m 近くに達する所もあった。
(八沢川右岸・築館町中谷地)

堤体中央に300 m にもわたり亀裂が走り、30～50cm
の沈下も生じている。(梅田川左岸・仙台市苦竹)



亀裂の幅が1m近くにも達した。(七北田川右岸・泉市川原)



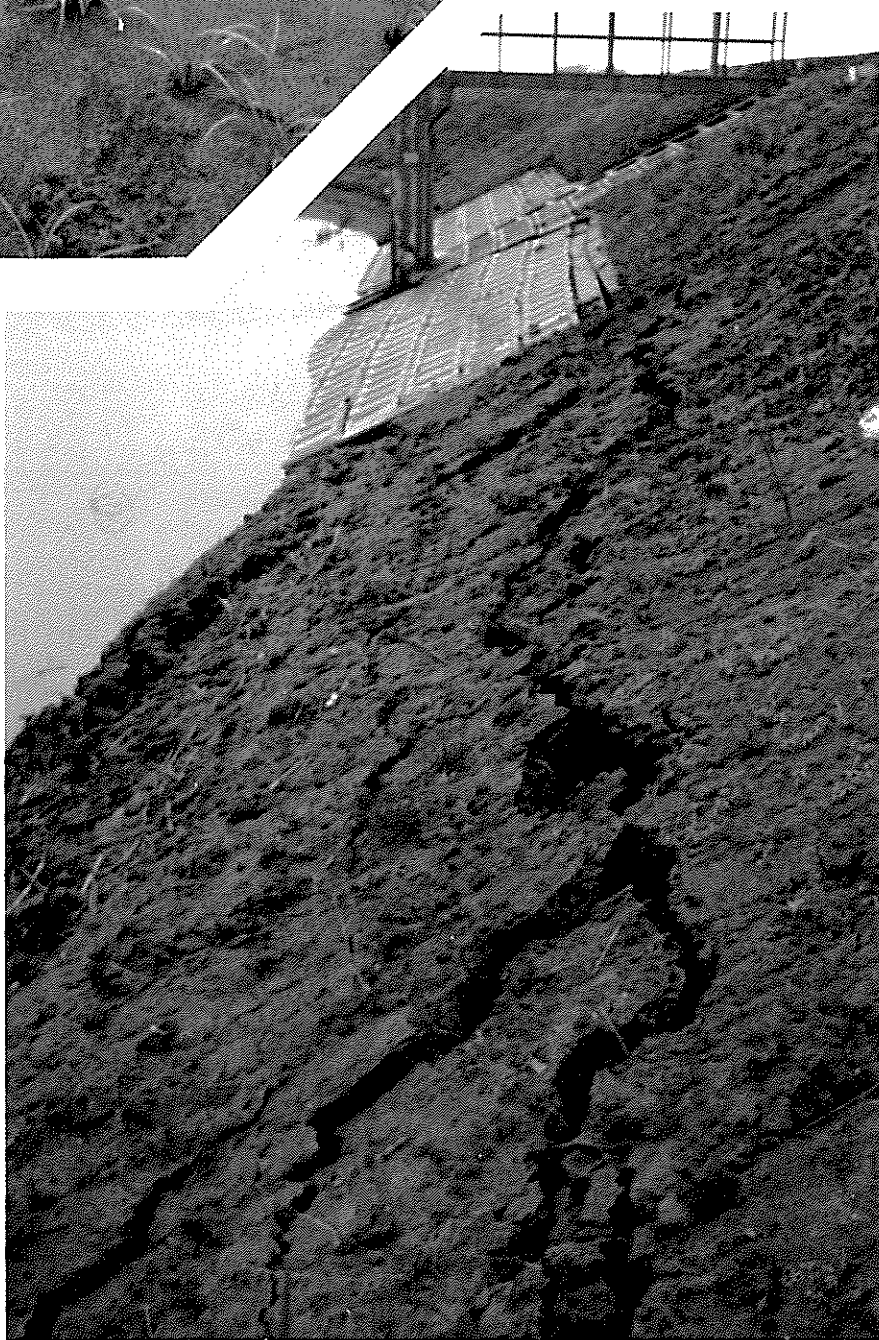
亀甲状の亀裂の入った堤防(仙台市右岸・泉市川原)



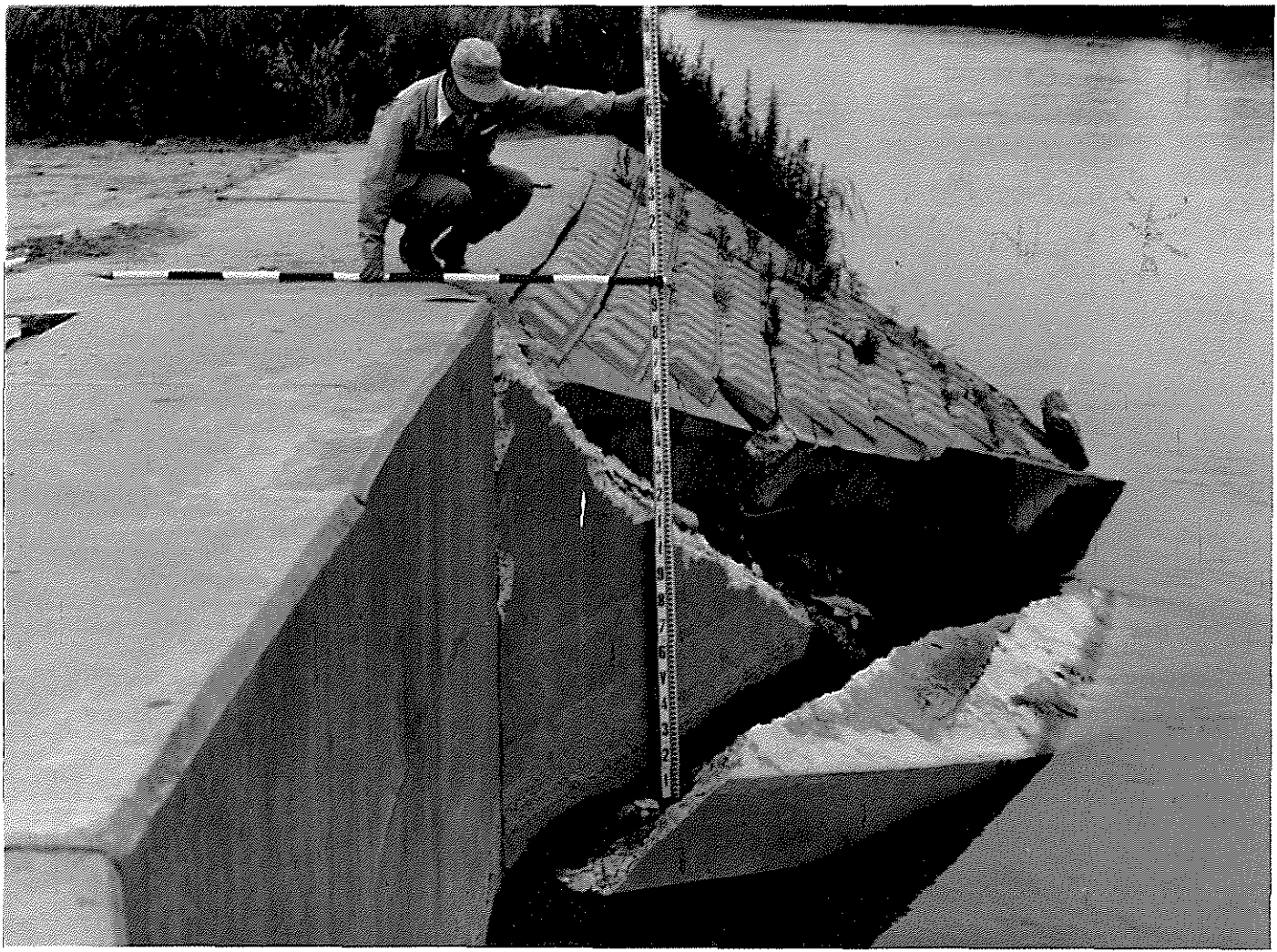
堤内地の水田に噴出した砂（旧迫川左岸・南方町砥落）



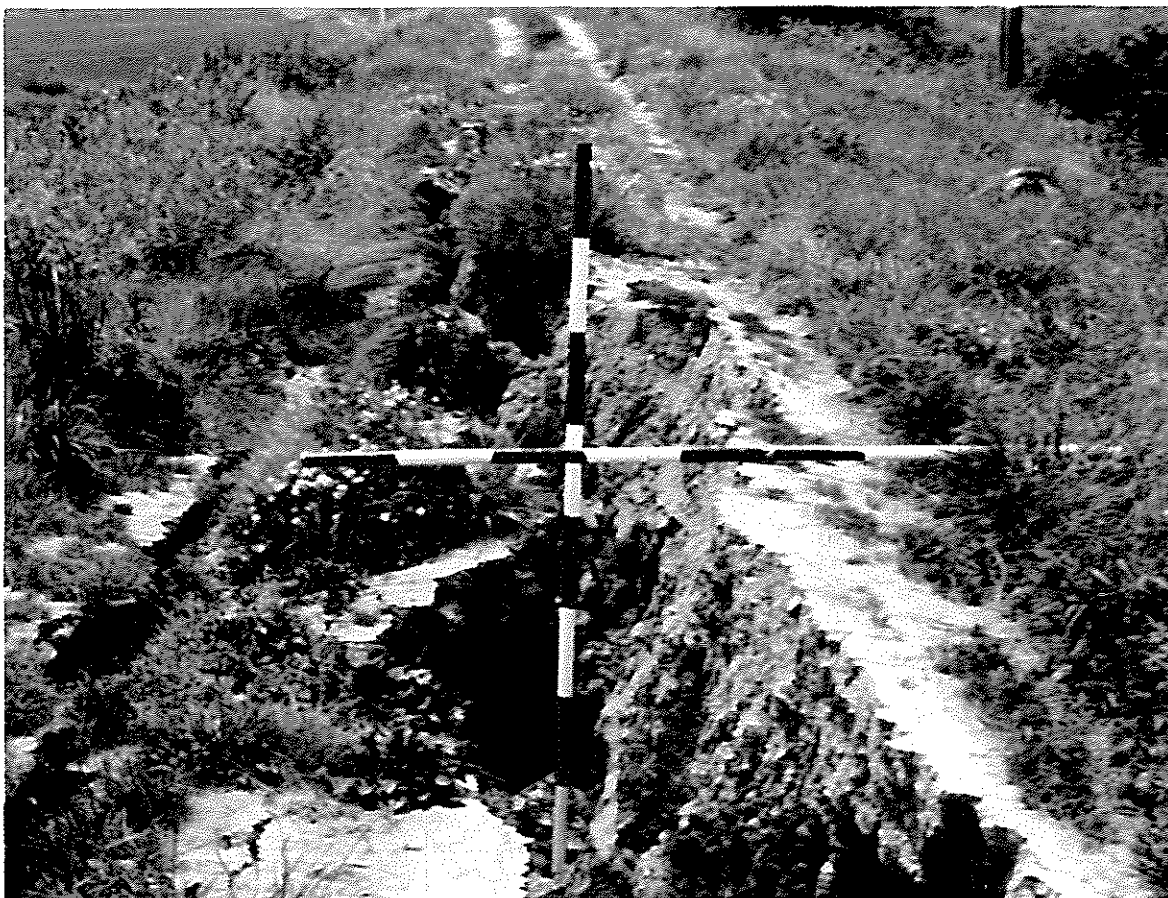
堤防表法面の亀裂（旧迫川左岸・南方町砥落）



堰の取り付け護岸の破損（迫川・米山町山吉田）



堤内地の噴砂現象（迫川右岸 志波姫町三丁目）



亀裂の幅は1m近くにも達した(中島川右岸・河北町牧野巣)

陥没・沈下も1m以上に及んだ(中島川右岸・河北町牧野巣)



縦断方向の大きな亀裂と段差。
また、天端で1m以上の沈下を生じた。(定川右岸・矢本町上区)



平張ブロック護岸の崩壊（定川右岸・矢本町上区）

平張ブロック護岸の崩壊（定川右岸・矢本町上区）





堤防裏法面のすべりによる亀裂。この箇所は過去に破堤した所（名取川右岸・名取市鍋沼）
〔以下直轄河川の写真は、東北地建の提供〕



堤防天端の大きな亀裂（名取川右岸・名取市鍋沼）



名取川河口部特殊堤、縦断方向に亀裂が入り、断差を生じている。（名取川右岸・名取市関上）



法枠護岸工の破壊状況（阿武隈川左岸・名取市新浜）



元は平らであった兼用堤の路面が陥没しているのがわかる。(北上川右岸・釜谷第二堤防)



亀裂の段差が生じた北上川堤防（北上川右岸・釜谷第四堤防）



天端の大きな亀裂。橋浦堤防は、北上川第一期改修工事によりほとんど水田を埋めて施工されたものであり、基礎地盤も弱いようである。（北上川左岸・橋浦堤防）



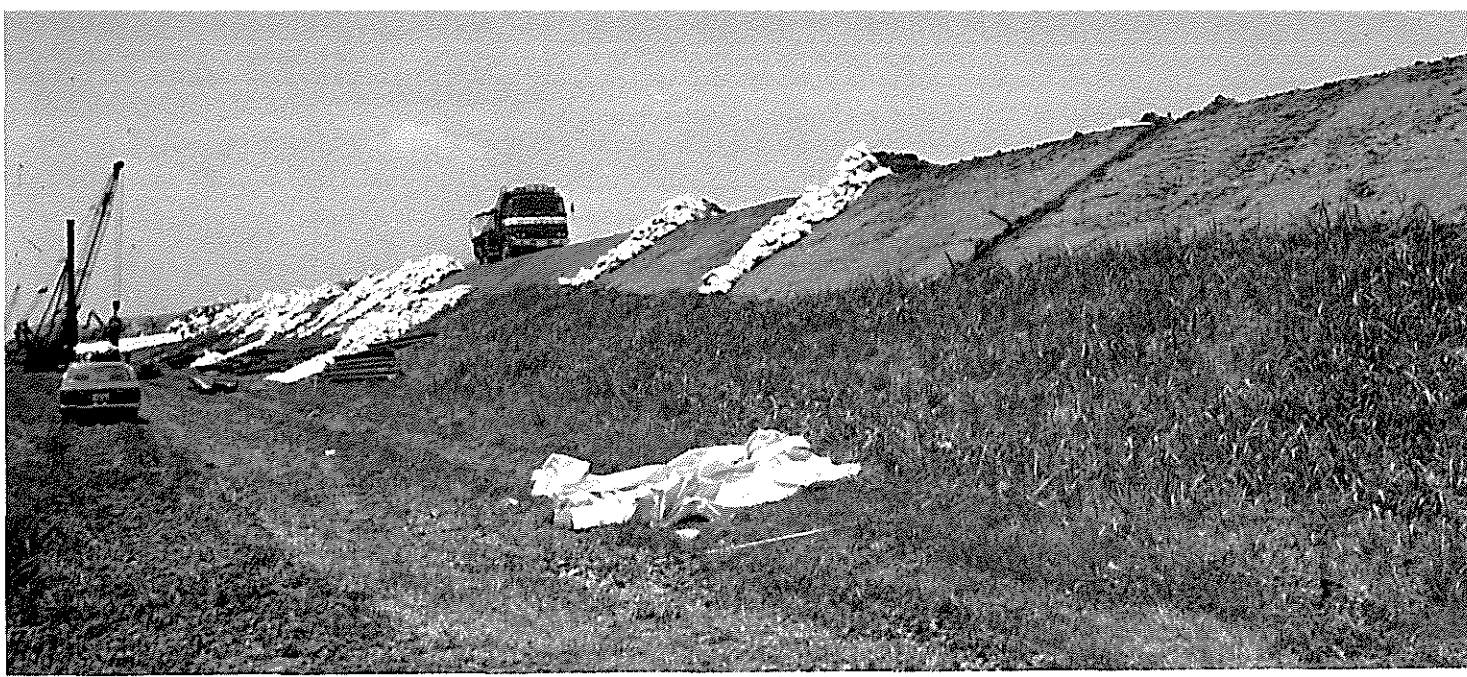
人間が楽に入るほどの大きな亀裂
（北上川左岸・橋浦堤防）



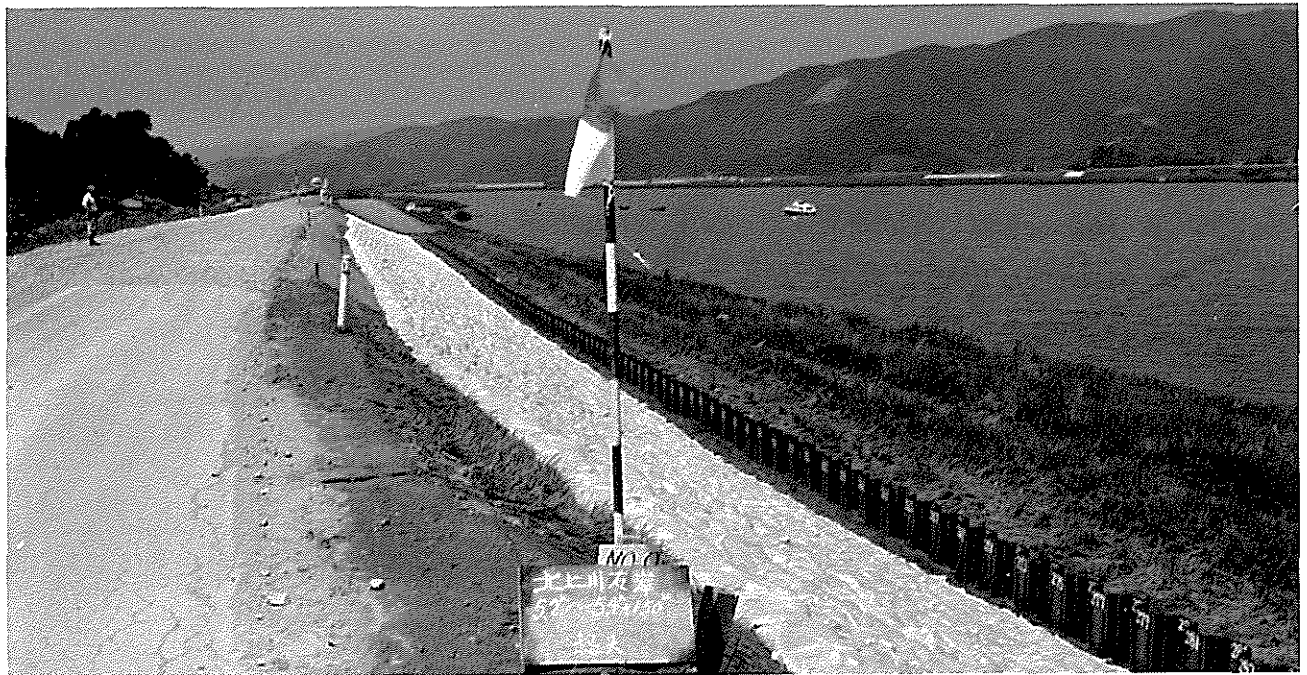
天端法肩の崩壊（北上川左岸・橋浦堤防）



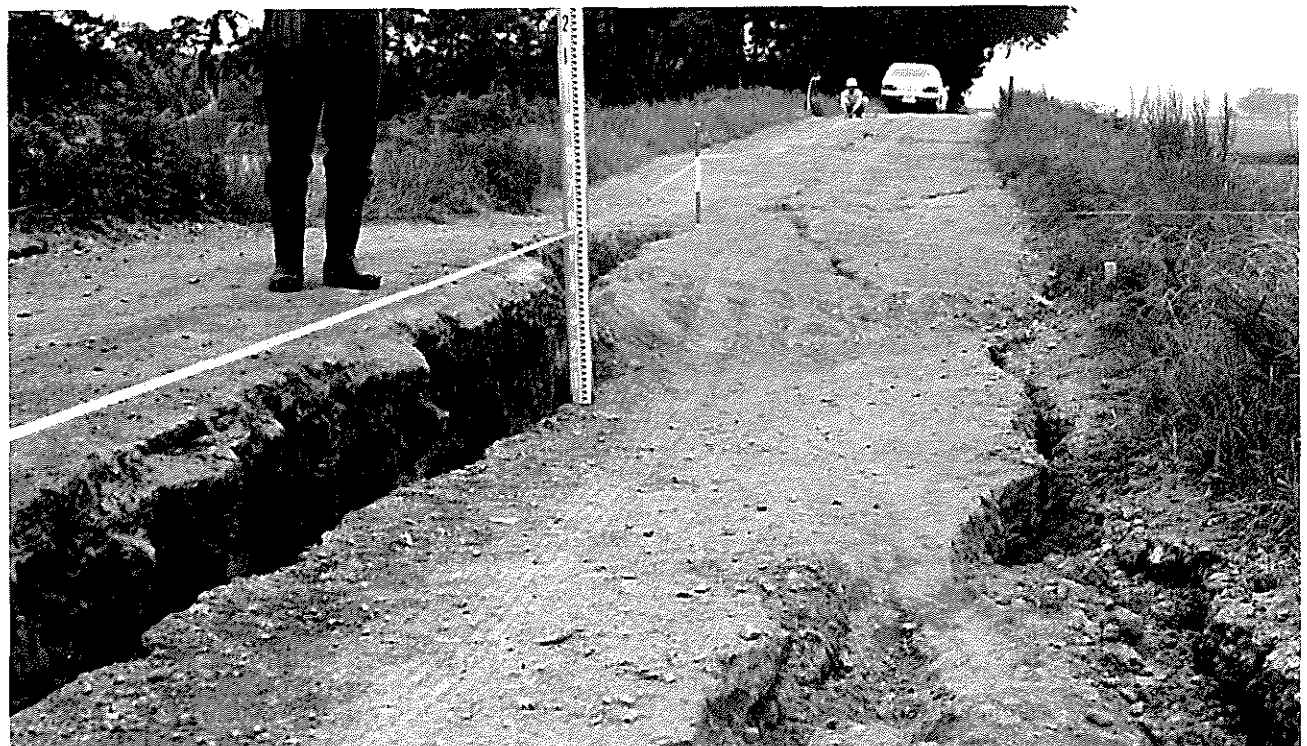
裏小段にも亀裂や段差が生じている。（北上川左岸・橋浦堤防）



表法尻への鋼矢板打込み作業（北上川左岸・橋浦堤防）



緊急復旧が完了した状況（北上川左岸・橋浦堤防）



沈下のために約五十cmの段差がついている。
（鳴瀬川左岸・浜市第二堤防）



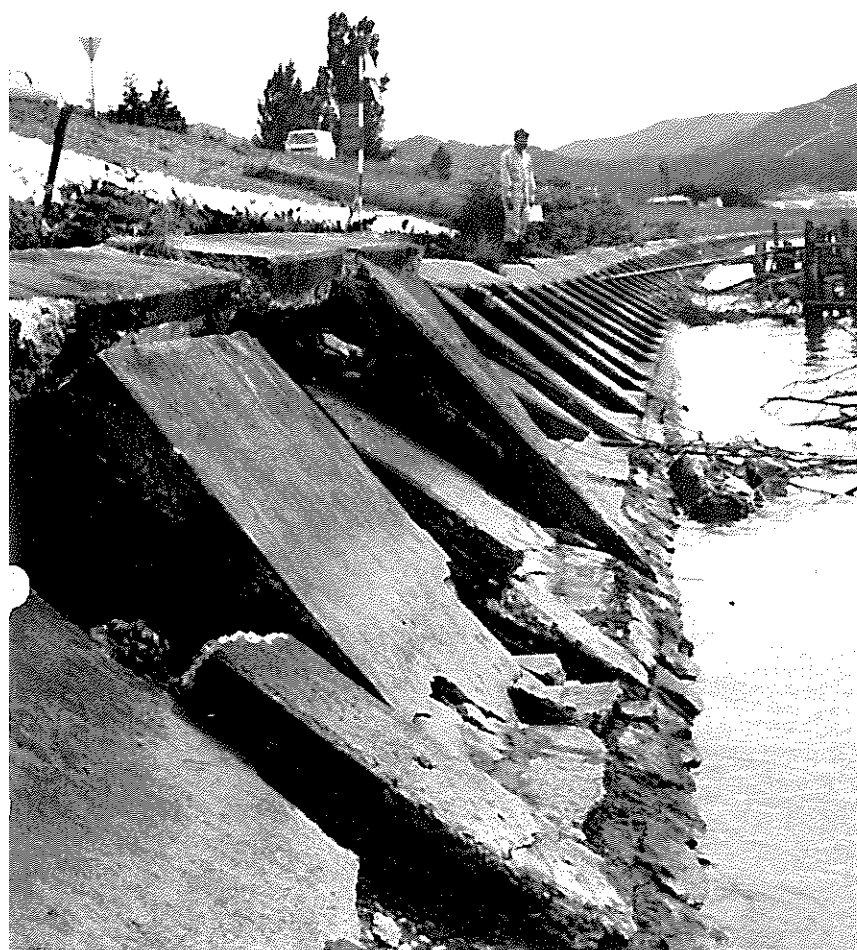
幅1 m、深さ2 m程度の亀裂が幾重にも走っている。(吉田川右岸・山崎堤防)



すべりによって生じたと思われる表法面の数条の亀裂 (吉田川右岸・山崎堤防)



大きなすべりにより天端は1 m程度沈下している。(吉田川右岸・山崎堤防)



コンクリート格子張護岸の破壊状況
(北上川右岸・釜谷第二護岸)

コンクリート格子張護岸の格子とスラブが
裂けている。(北上川右岸・辻堂護岸)



石積護岸のすべりによる破壊
(旧北上川左岸・不動沢護岸)



樋管門柱の折損 (鳴瀬川右岸・阿久戸排水樋管)



堤内地水田からの噴砂 (旧北上川右岸・河南町梨の木)





三面張海岸堤防の沈下と破壊（東名海岸・鳴瀬町洲崎）



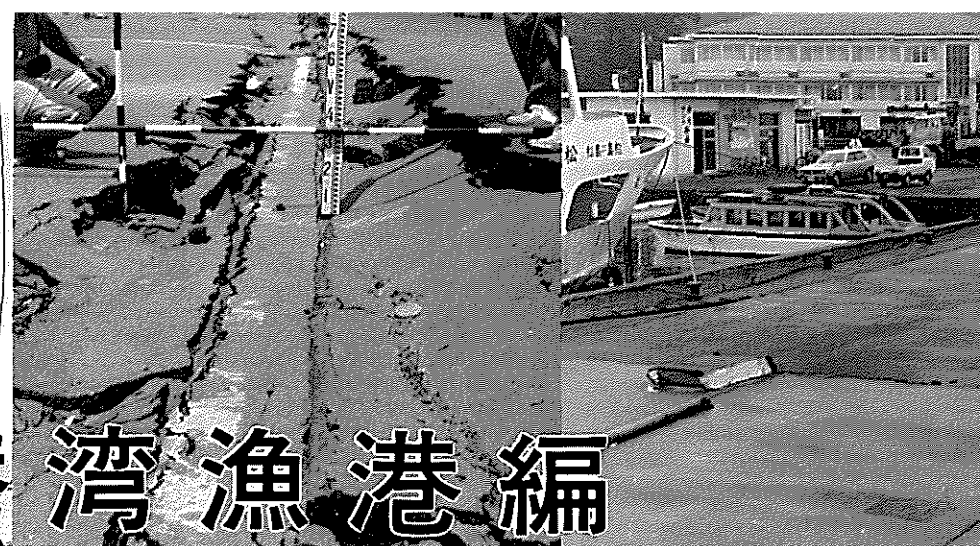
パラペットがせり出し、天端が沈下している。（東名海岸・鳴瀬町洲崎）



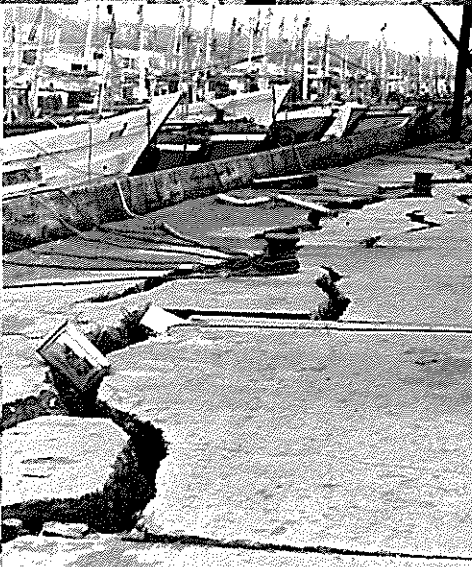
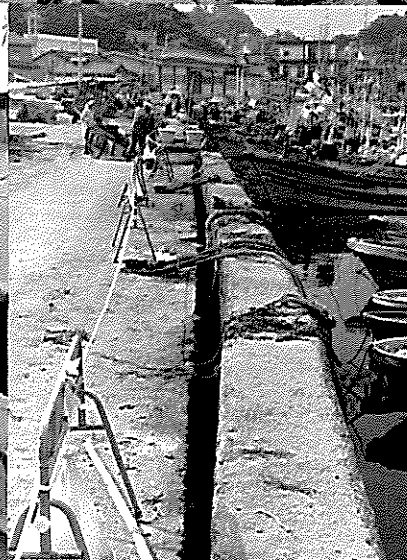
裏法面の亀裂と天端の沈下（東名海岸・鳴瀬町洲崎）



石積護岸の欠壊（黒崎海岸・志津川町黒崎）



4 港 湾 漁 港 編



港湾漁港被災箇所図





荷役機械が脱輪し、脚部が曲り海側に傾斜した。(重要港湾・石巻港)



中島埠頭岸壁(マイナス一〇、〇m)背後。堤体前傾によりエプロン、荷捌地が沈下。(重要港湾・石巻港)



松島港観光棧橋のエプロンの沈下（地方港湾松島港）



同 上（地方港湾 松島港）

物揚場（マイナス一、五m）の堤体が前傾し、エプロンが沈下した。
（重要港湾塩釜港 吉田花淵地区）



エプロンの沈下及び亀裂。岸壁（マイナス六、〇m）（塩釜漁港）





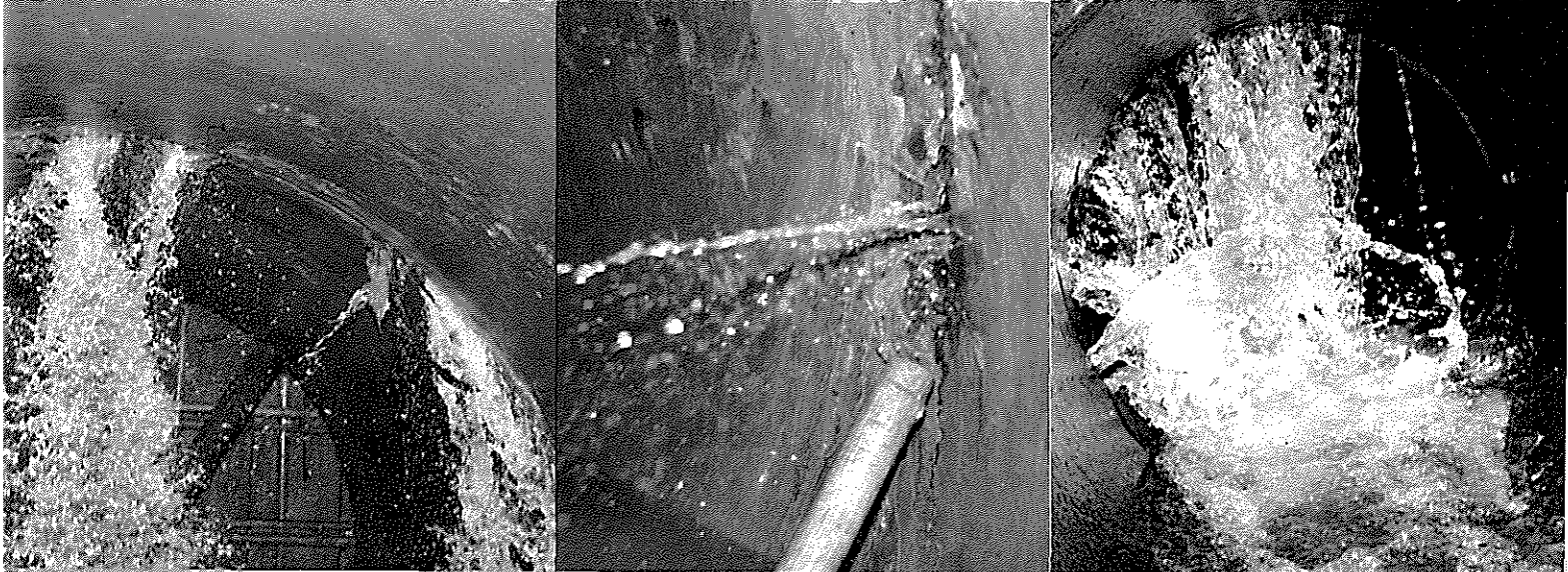
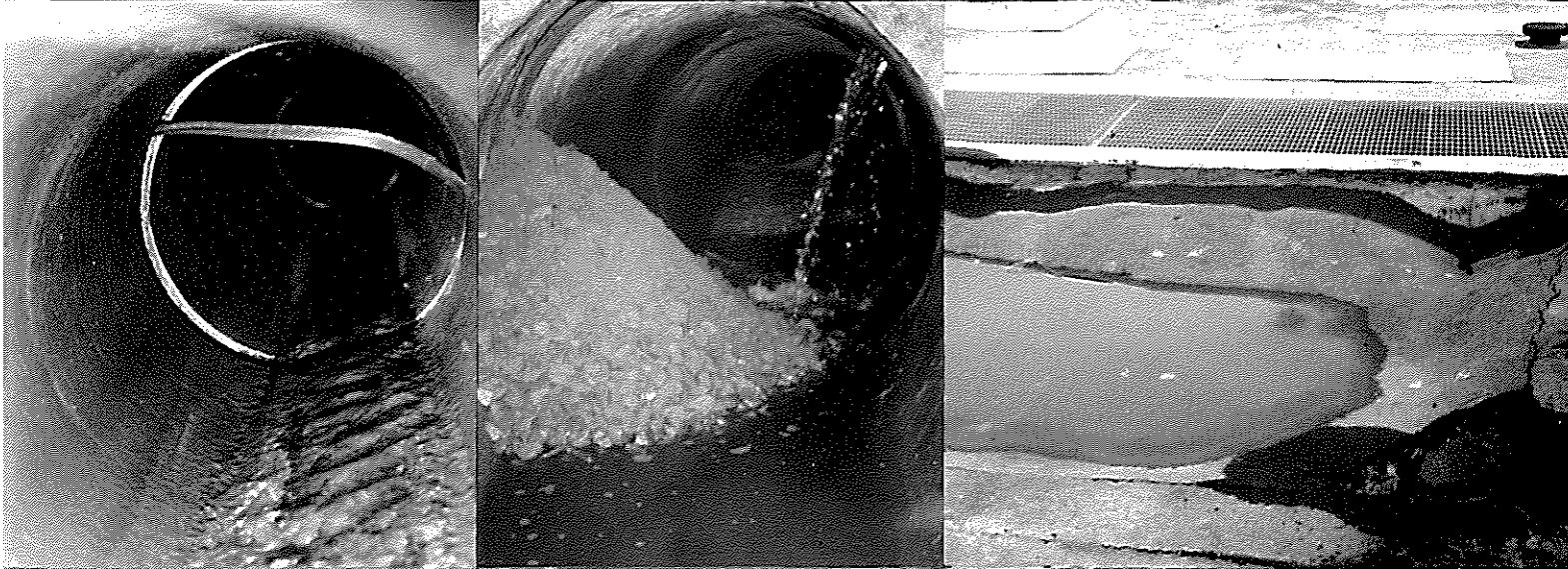
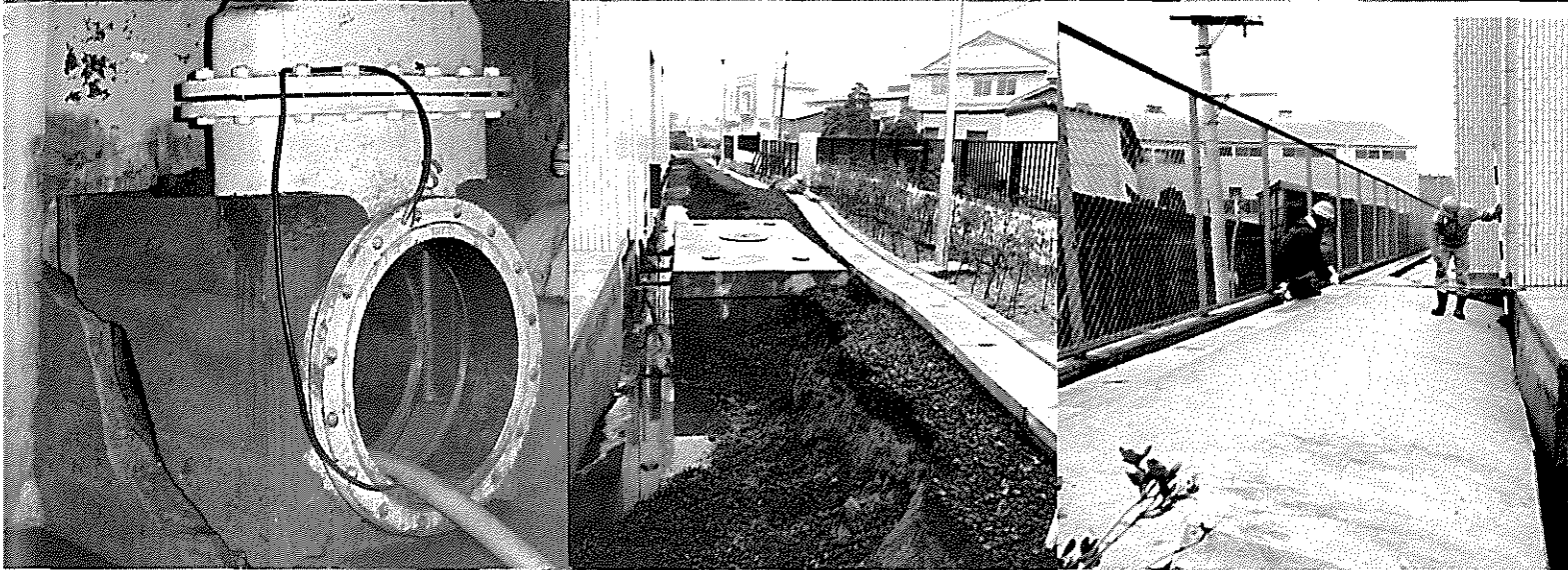
背面道路の亀甲状の亀裂（関上漁港）



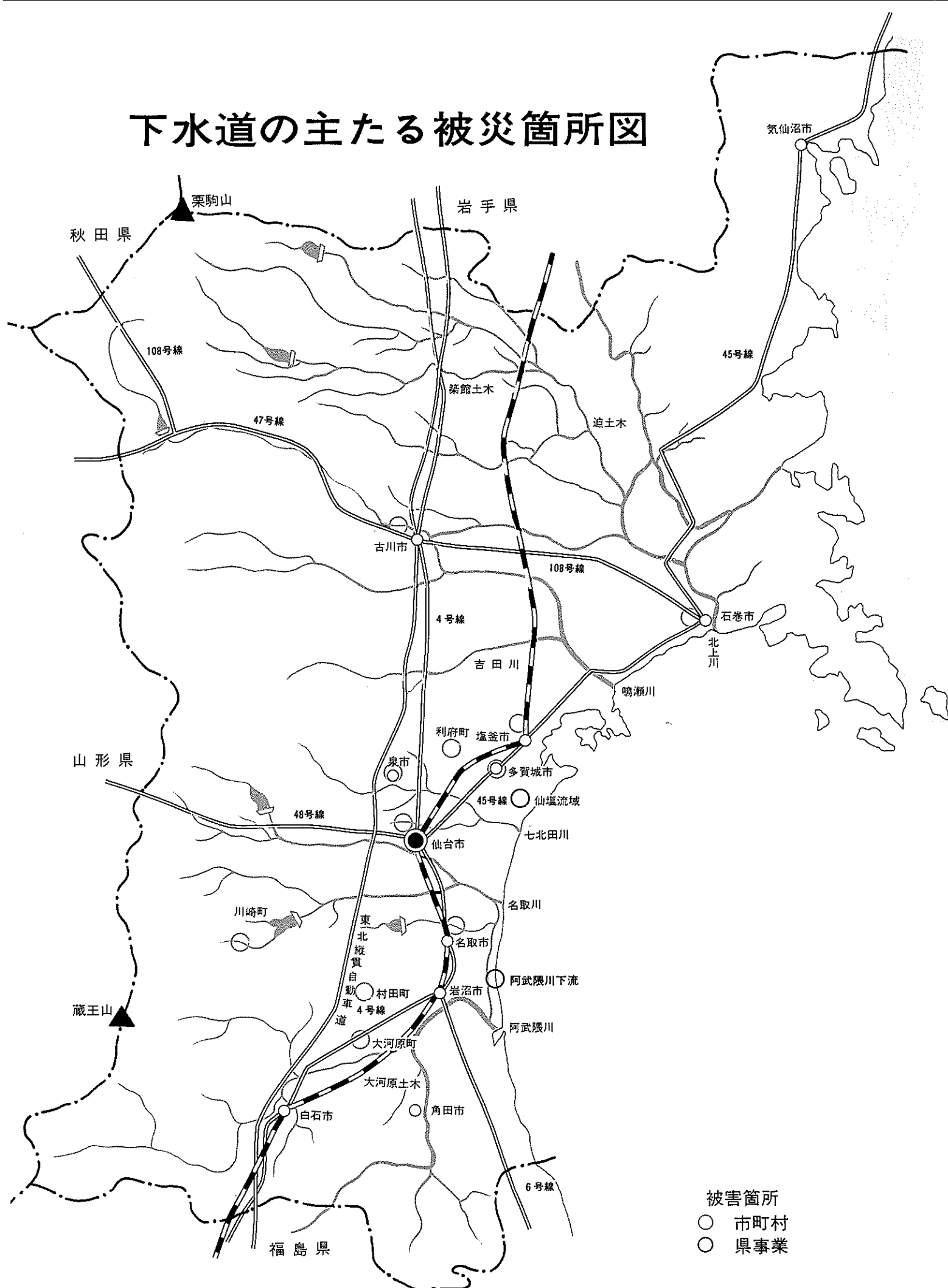
物揚場（ -2.5 m ）の提体が前傾し、エプロン約200 m にわたって沈下及び亀裂を生じた。



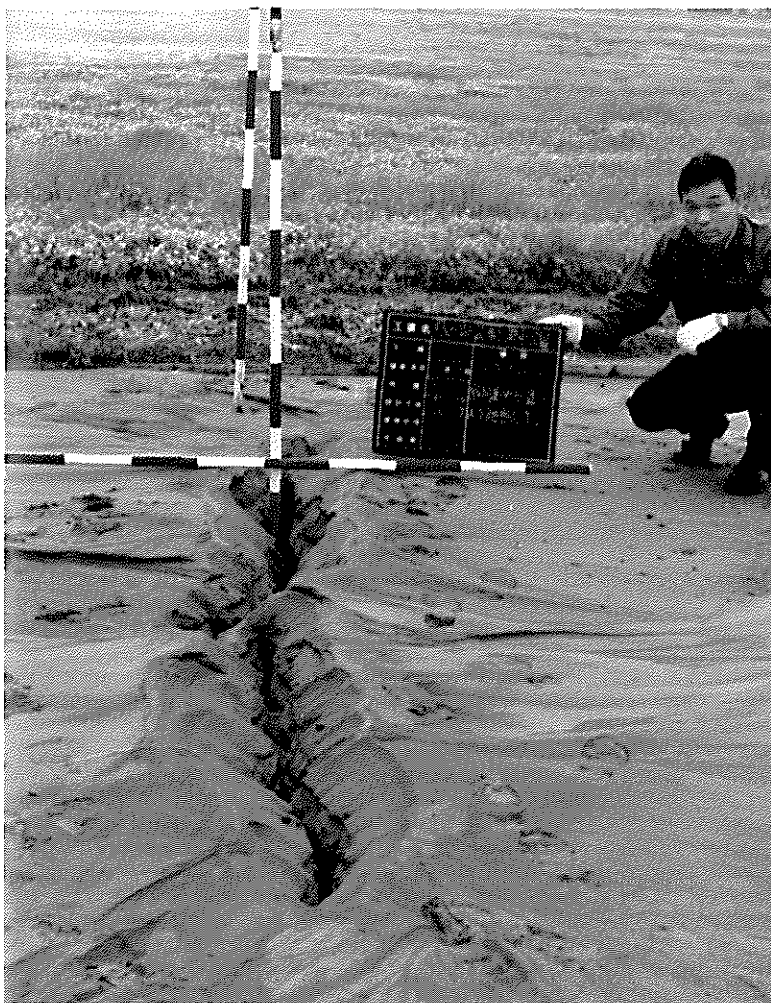
5 都市施設編



下水道の主たる被災箇所図



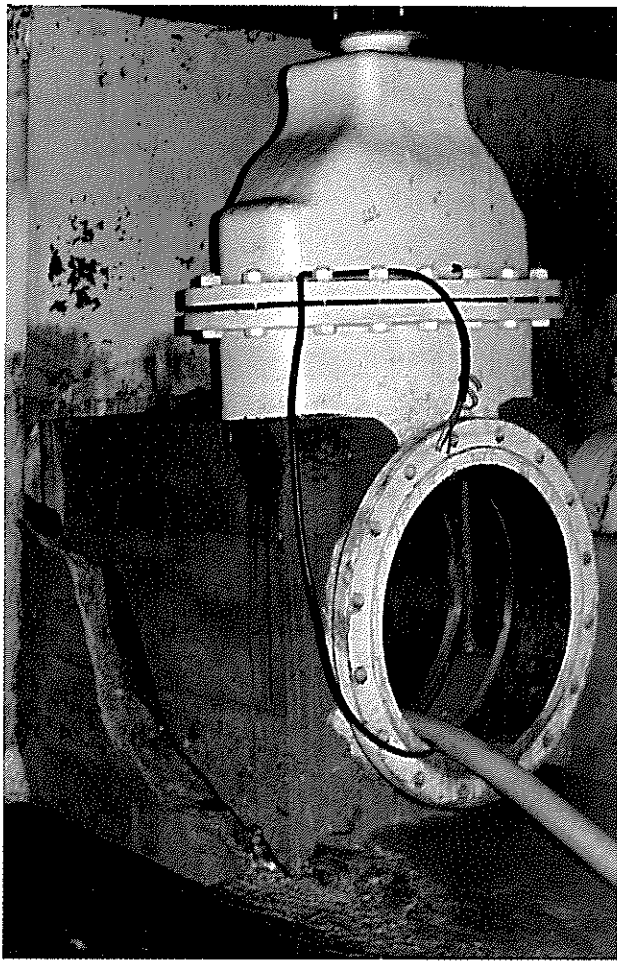
青葉城多聞堀の損壊（仙台市・青葉山公園）



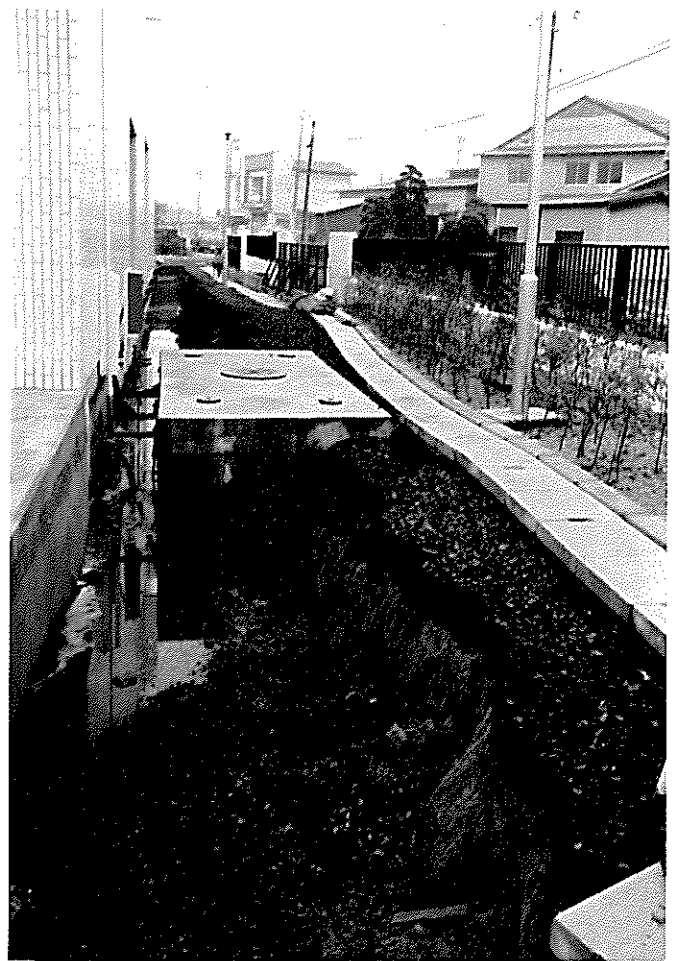
陸上競技場走路に亀裂が入り地下水と砂が噴出した。
（亘理町・亘理公園）



池沿の園路の崩壊（小牛田町・志賀公園）



ポンプ場汚水圧送管(φ700㎜铸铁管)
および弁基礎の亀裂破壊(仙台市郡山ポンプ場)



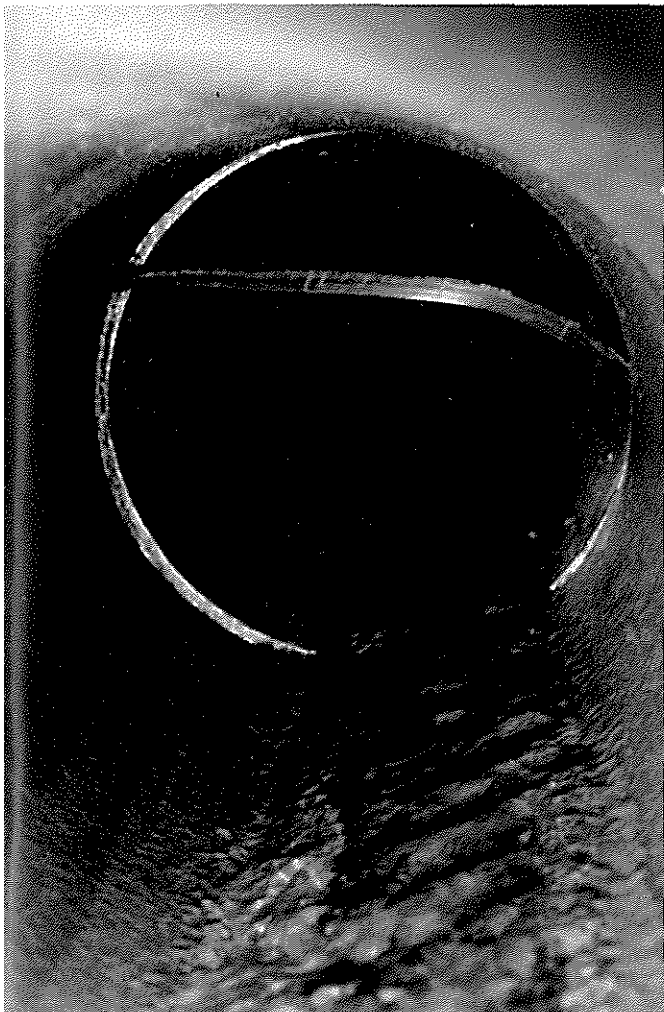
ポンプ場内盛土、地盤陥没
(塩釜市・仙台流域下水道塩釜中継ポンプ場)



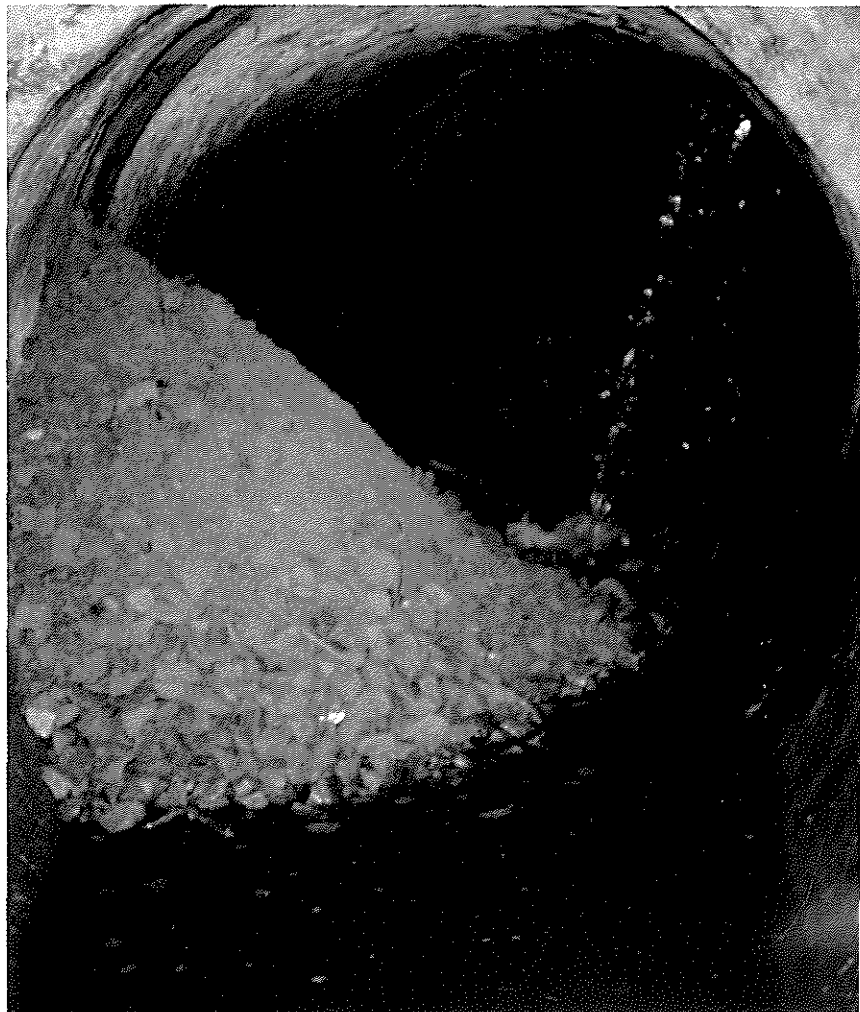
ポンプ場内叩きコンクリート版の沈下破損(塩釜市・仙塩流域下水道塩釜中継ポンプ場)



処理場内導水渠付近盛土、地盤沈下(仙台市南蒲生下水処理場)



ヒューム管(φ800㎜)の目地が拡がりゴムリングが離脱した。(塩釜市公共下水道港町枝線)



ヒューム管(φ1,000㎜)の破損による土砂流入
(塩釜市公共下水道二又雨水幹線)



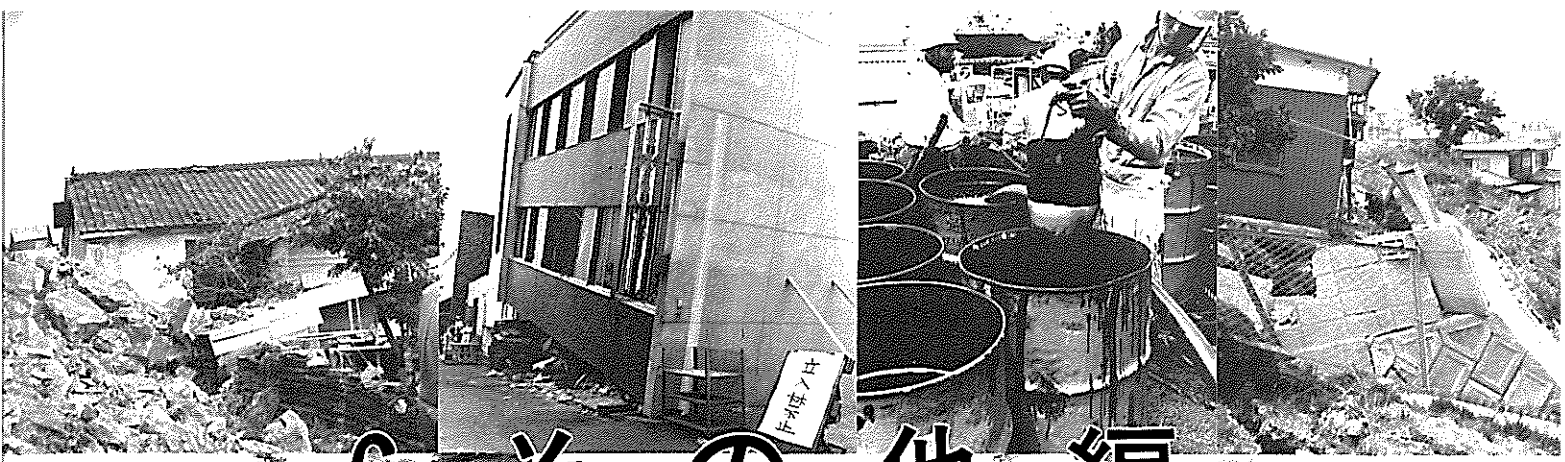
ヒューム管(φ2,200㎜)の継手部破損による地下水流入(仙台市公共下水道七北田川右岸幹線)



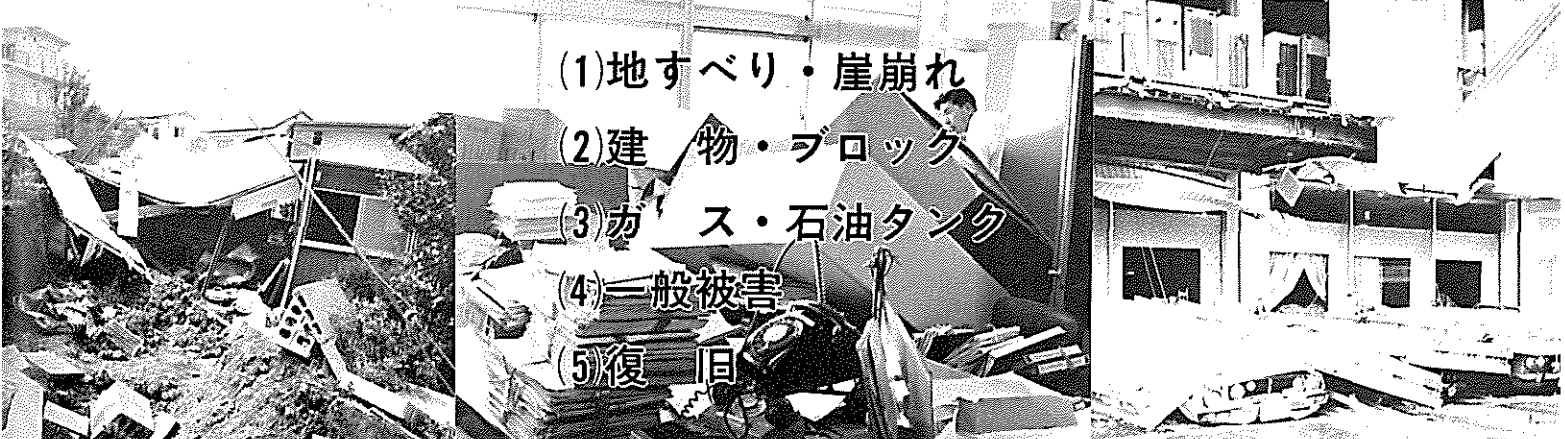
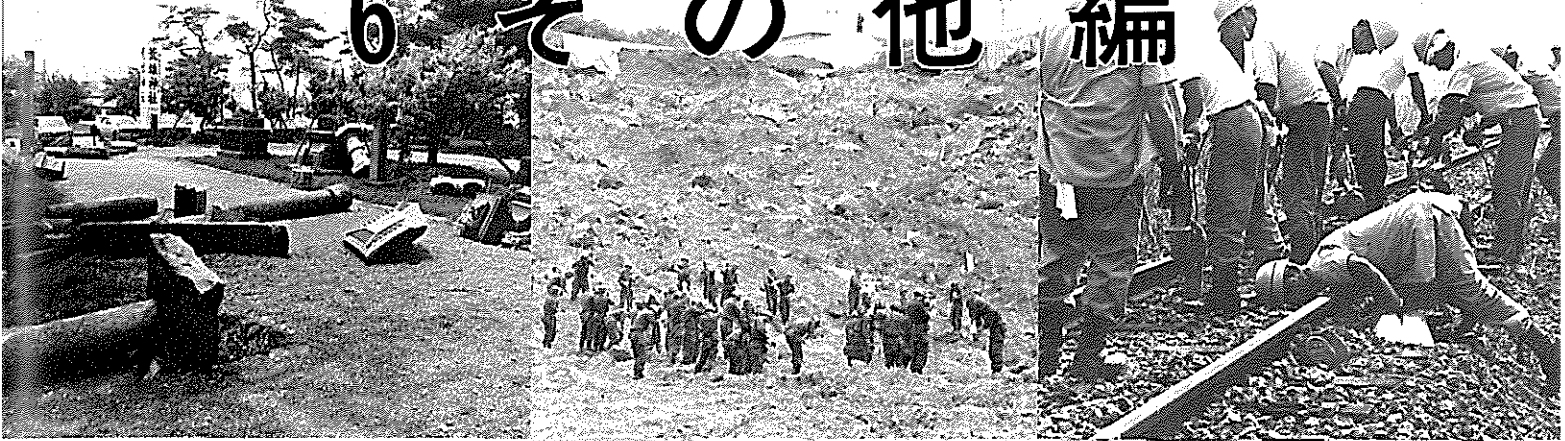
同 上 (仙台市公共下水道七北田川右岸幹線)



苦竹地区伏越管(ヒューム管φ500㎜)の継手部破損による地下水の流入(仙台市公共下水道苦竹地区伏越管)



6 その他編



(1)地すべり・崖崩れ



白石市寿山の緑ヶ丘団地では砂質シルトの高さ30mの盛土が震動により崩壊した。
崩壊面積は約16,000㎡、崩壊土量は130,000㎡に及んだ。(白石市寿山・緑ヶ丘団地)



崩土は、寺院、住宅、道路を襲い、死者1名、住宅全壊1棟、道路欠壊約700m
そして寺院1棟が半壊した。(白石市寿山・緑ヶ丘団地)

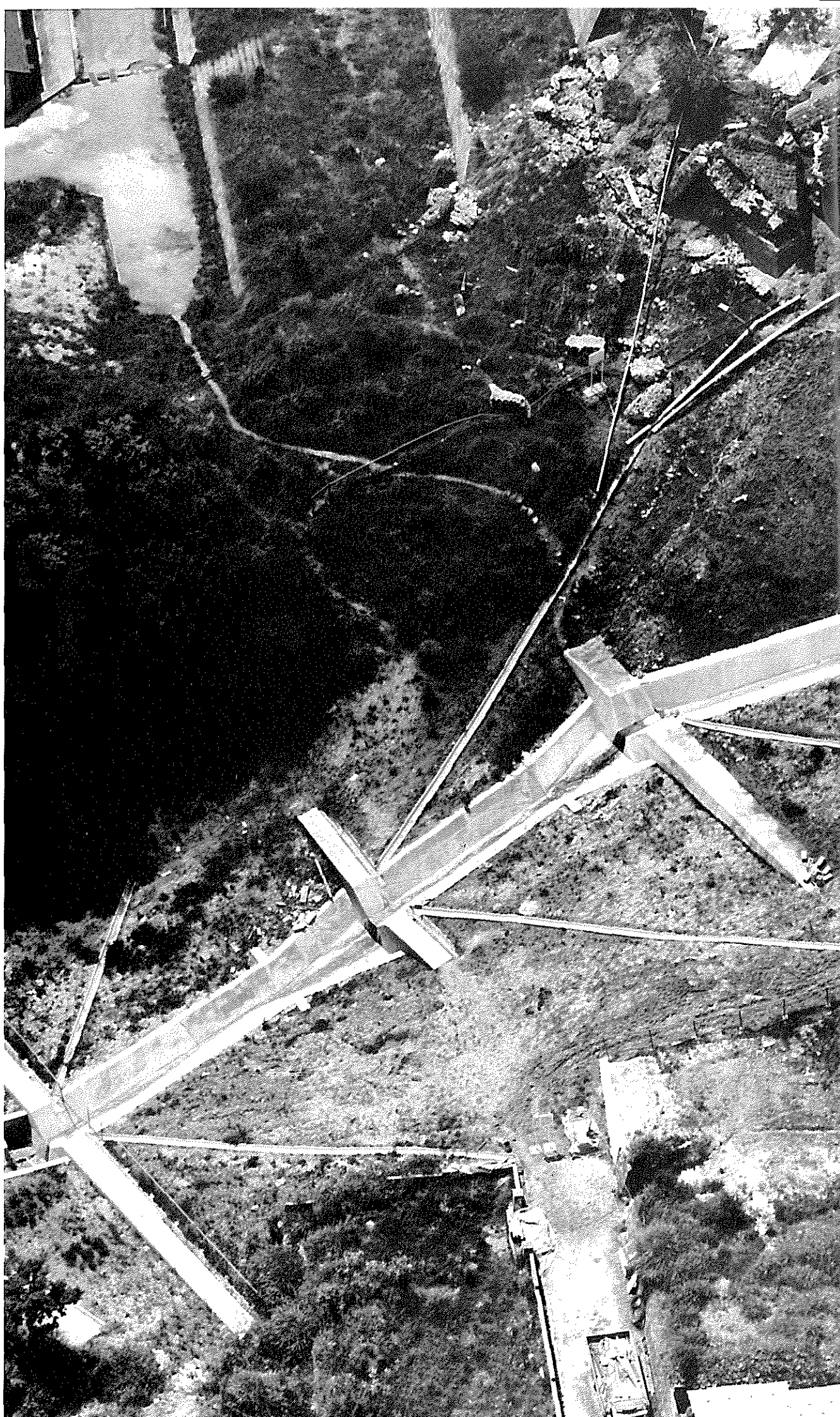
同 左 下（白石市寿山・緑ヶ丘団地）

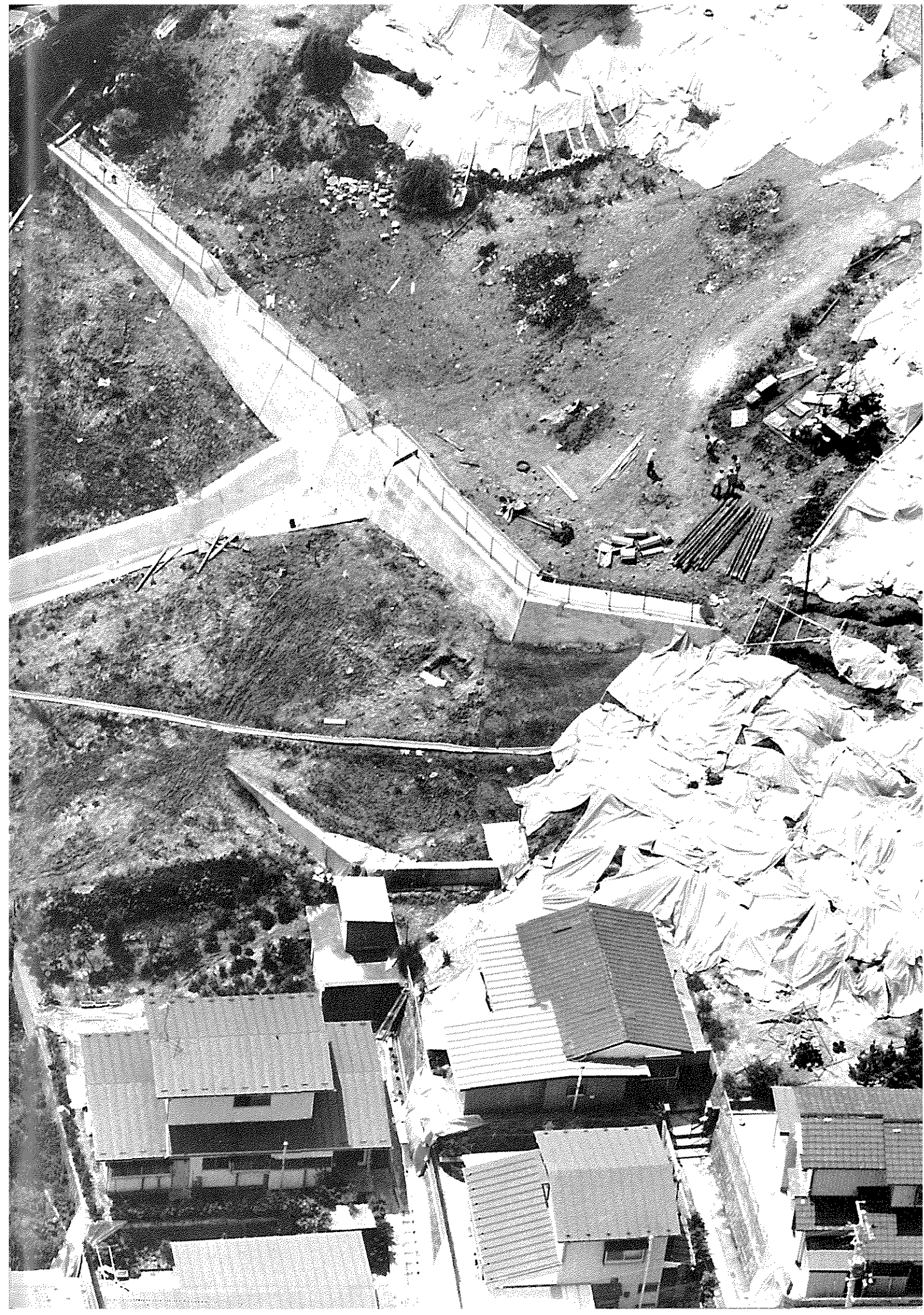


崩壊した土砂に巻き込まれ、行方不明となった住民の捜索が、自衛隊及び消防団等の支援によって行なわれた。（白石市寿山・緑ヶ丘団地）



地滑りにより最上部谷止工左岸側約二二mが約五〇cm、中間の谷止工一基が約三〇cm前傾し、コルゲートの表面排水工が寸断した。(仙台市緑ヶ丘三丁目畑罫沢地内)







谷止工左岸隣接部は盛土厚が約14mもある宅地で、且つ近辺の地下水が集っているため、面積約10,000㎡にわたって崩壊を起した。(仙台市緑ヶ丘三丁目畑崎沢地内)

宅地造成の盛土部に築造されたブロック積が崩壊し、建築間もない住家が全壊した。(仙台市緑ヶ丘三丁目)





盛土部に築造された玉石積が地すべり性の滑動により崩壊し、
下方の住宅に押し出された。(仙台市緑ヶ丘一丁目)

盛土造成された宅地が崩壊し、住宅が全壊した。(仙台市緑ヶ丘三丁目)





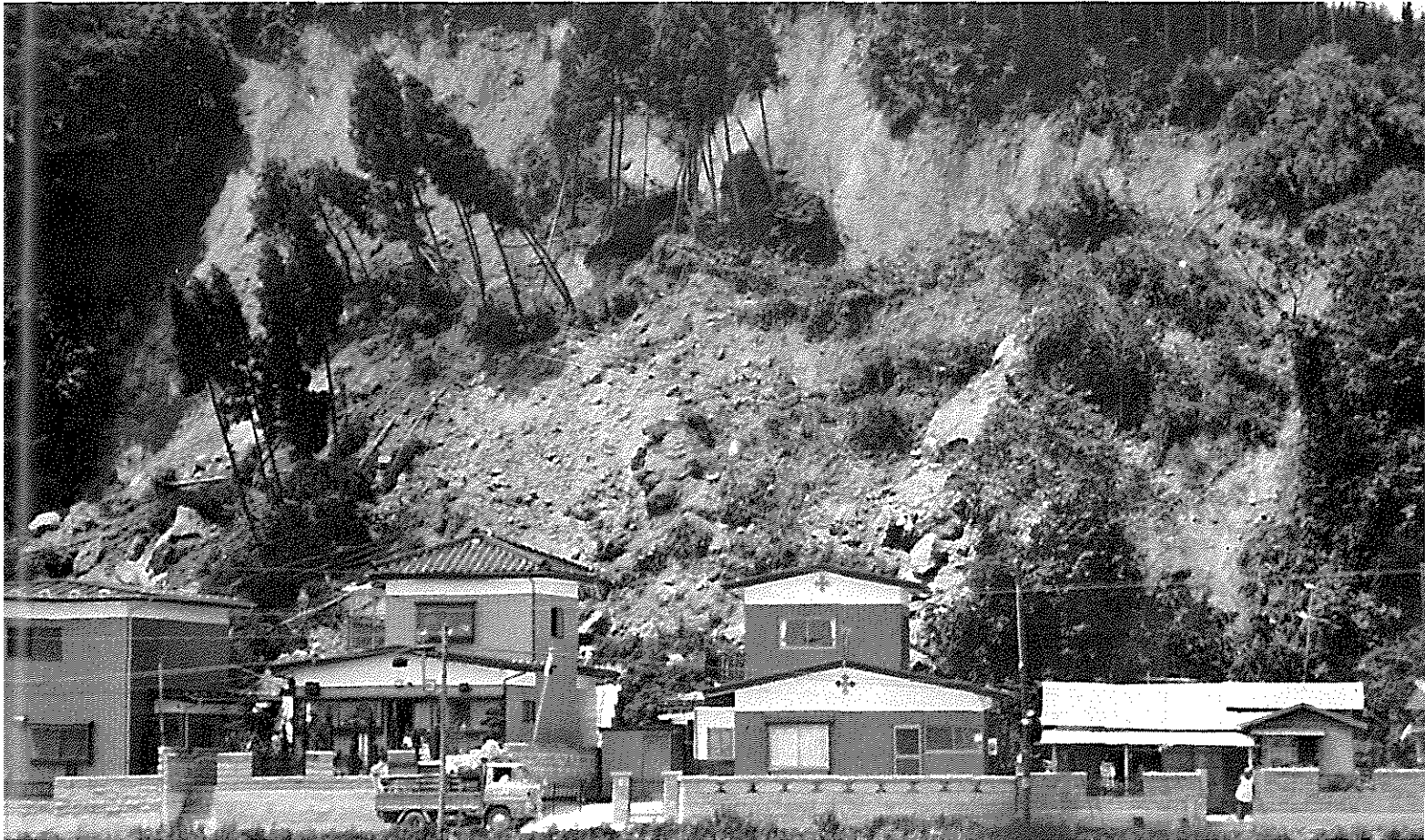
傾斜のきつい凝灰質シルト岩が延長110mにわたり崩落し、住宅半壊1戸、一部破損1戸の被害となった。(三本木町蛇沼山地区内)



手前側の盛土部に築造されたブロック積が崩壊し、奥のブロック積も盛土と共に移動し危険な状態となり住宅は全壊した。(仙台市緑ヶ丘一丁目)



凝灰角礫岩が延長約八五mにわたって約二、〇〇〇m³が崩落し、住宅四戸が半壊した。(松島町高城字愛宕)



傾斜は緩勾配であるが、地質が非常に脆く、がけ高が43mもあるため、延長約110mにわたって約6,000m³の土砂が崩落し、住宅の全壊1戸、半壊3戸、重傷者1名の被災を受けた。(松島町高城字高山下)

(2)建物・ブロック



県内各地で門柱やブロック 塀が倒れ、いたましい犠牲者を出した。



耐震性の弱いコンクリート並びに石製ブロック塀の補強が痛感される。



このような所を歩いていて、圧死した人が多い。



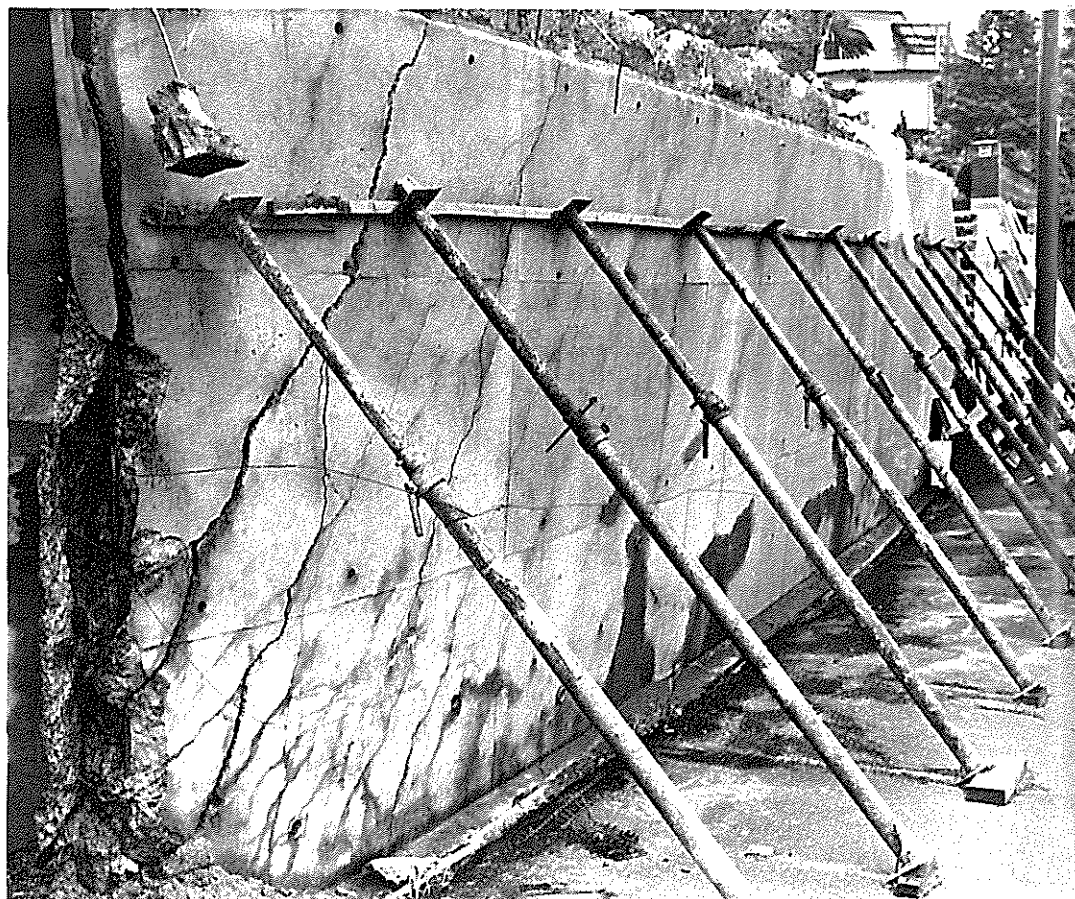
石を唯積みだだけの塀は、ほとんどなんらかの被害を受けた。



復旧は思うにまかせず、しばらくは、このままの姿がいたる所で見られた。



基礎もろとも倒壊した
ブロック塀



崩壊は免れたものの、盛土した土がせり出し、擁壁を破壊した。

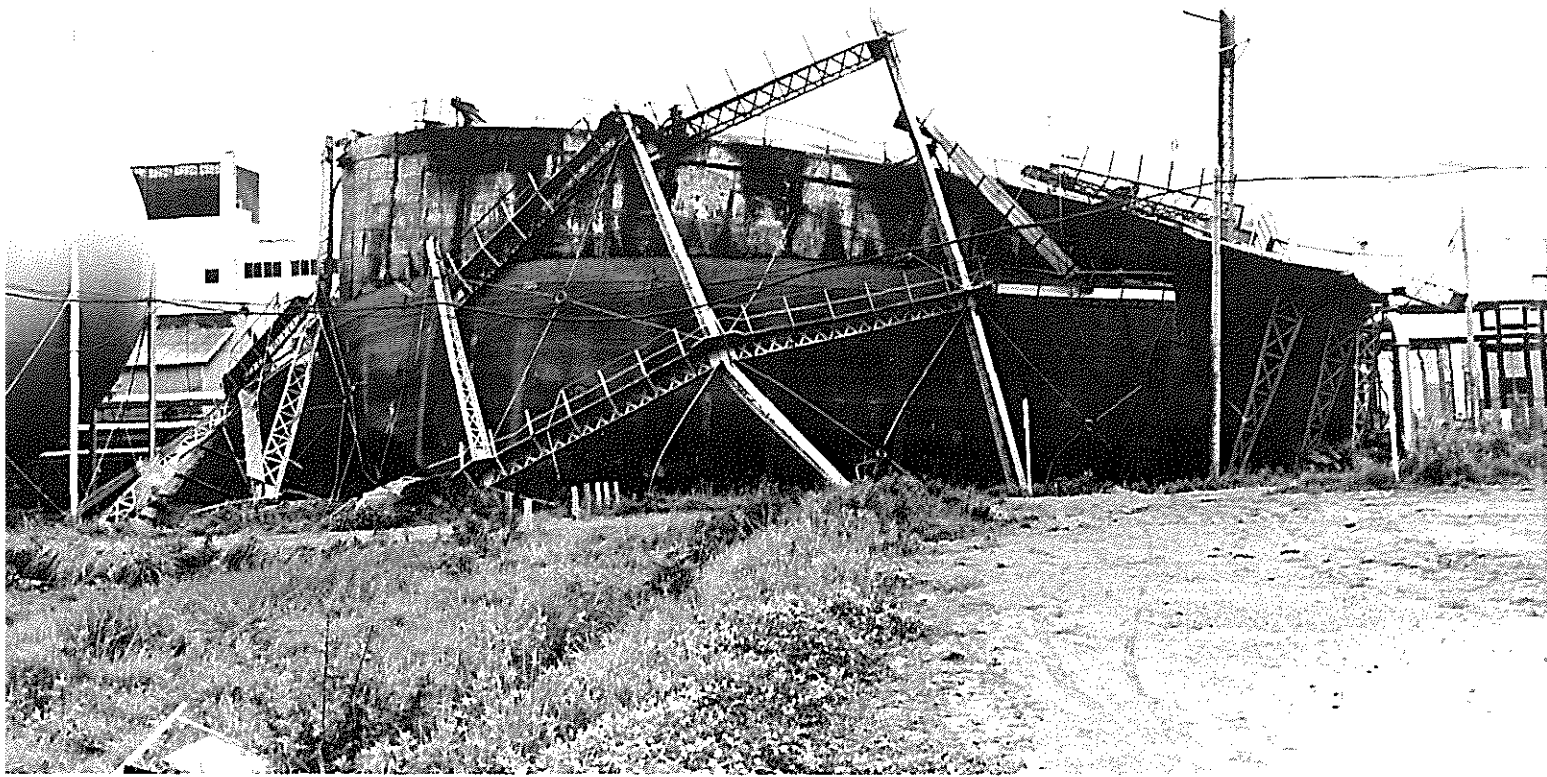


宮城県庁内の地震直後の
備品の転倒状況

備品の転倒は至る所で起き、もし、執務時間内であったなら、大惨事になる所であった。



(3)ガス・石油タンク



地震直後炎上した仙台市ガス局ガスタンク。ガス管の損傷がひどく一般家庭の火もしばらく消えた。



亀裂の入った東北石油のタンク。流出した重油が流出した。(仙台港)



流出した重油（仙台港）



近くの排水溝に流出した重油の回収作業（仙台港）



重油をドラム缶に回収(仙台港)



東北石油(株)流出油事故現場を視察する桜内国土庁長官を団長とする政府調査団一行

(4)一般被害



1階がつぶれたビル。幸い死者は出なかった。(仙台市卸町)



2階の壁が落ちて、下に駐車してあった車はペシャンコに（泉市七北田）

東北学院大学の煙突が中程からポツキリと折れた。（仙台市土樋）





1階が壊れた衣料品店（迫町佐沼）



営業もストップ（迫町）



1階が壊れ、中の品物があふれ出たビル。

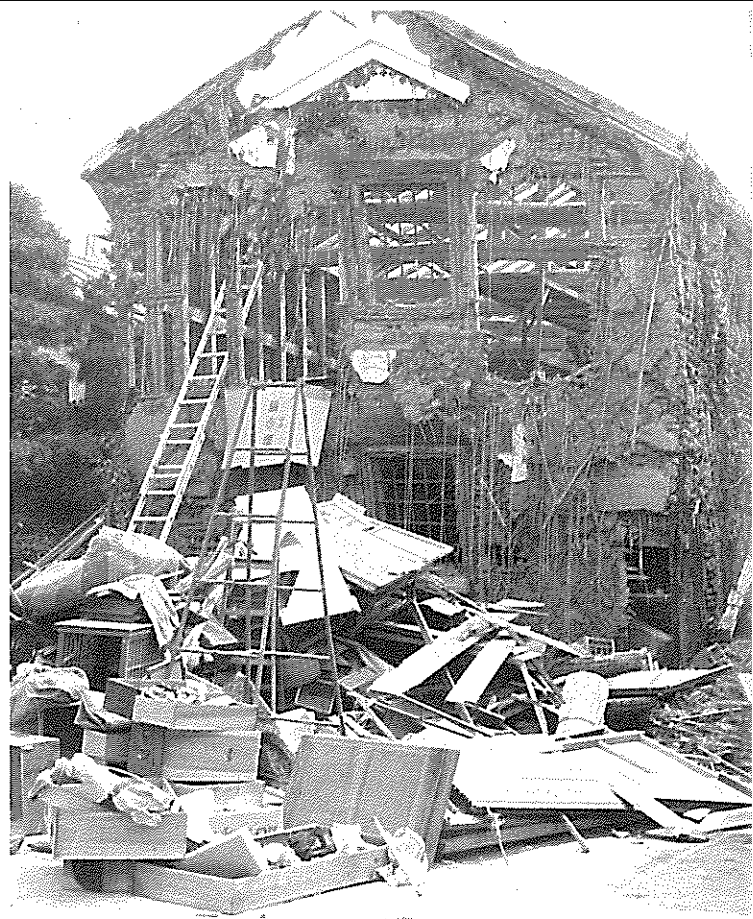


石柱、石燈籠等の石造物がごとく崩れ落ちた神社境内（古川市荒雄神社）





壁が崩れ落ちた旧有壁宿本陣の土蔵（金成町有壁）



崩れ落ちた土蔵の壁（迫町）



二階の屋根がつぶれた小学校（泉市野村小学校）



古い木造住宅に倒壊が多かった（米山町）



県内における全壊家屋は1,377戸、半壊は6,123戸を数えた。（古川市馬櫛）

軟弱地盤が倒壊を助長した。(米山町)



瓦屋根など屋根の重いものも倒壊が多かった。(小牛田町)



家屋倒壊による死者は県下で五人を数える。(泉市)





倒壊は免れたものの、柱が傾むき居住出来なくなった民家（河北町）

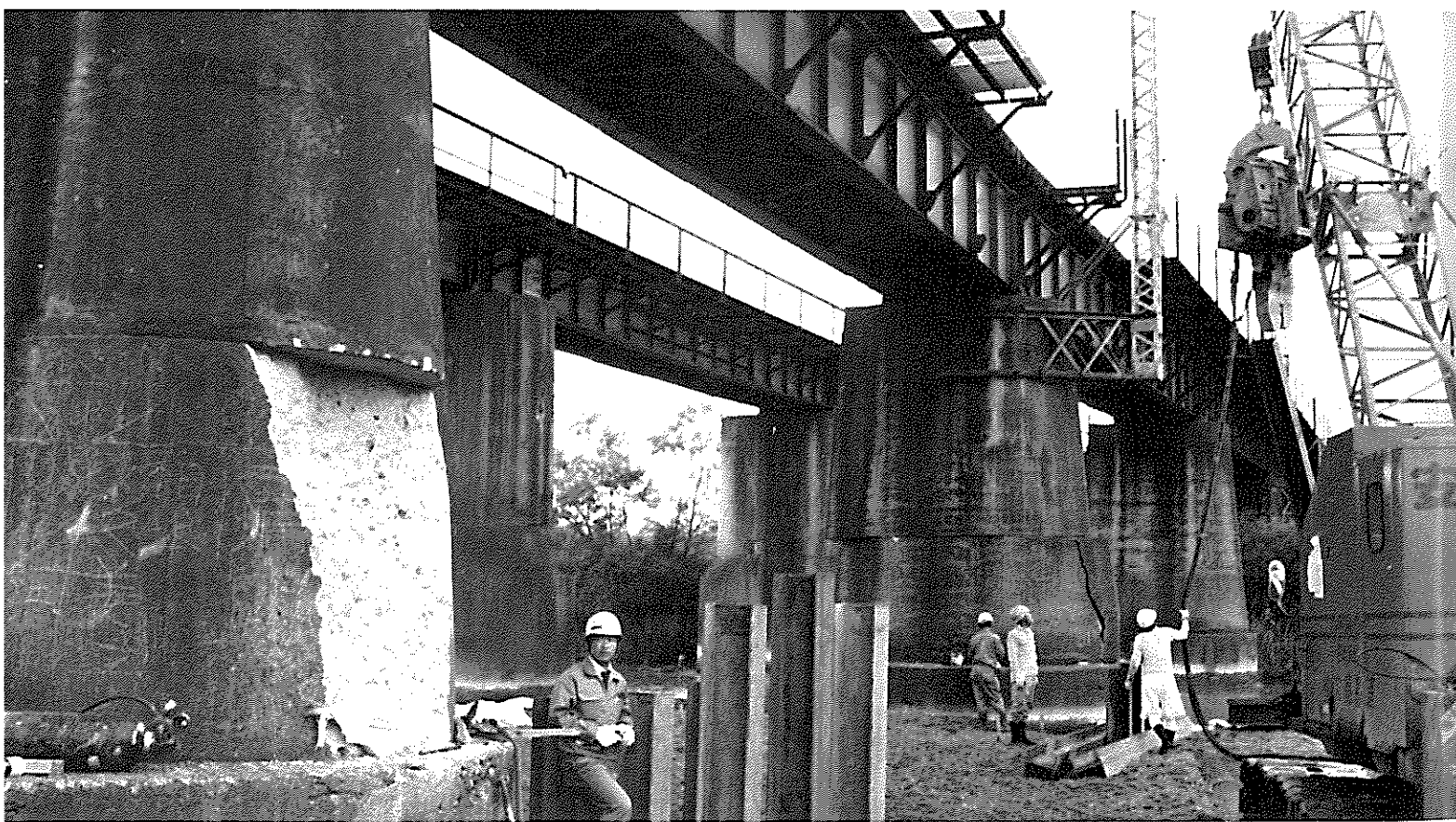


同 左（河北町）



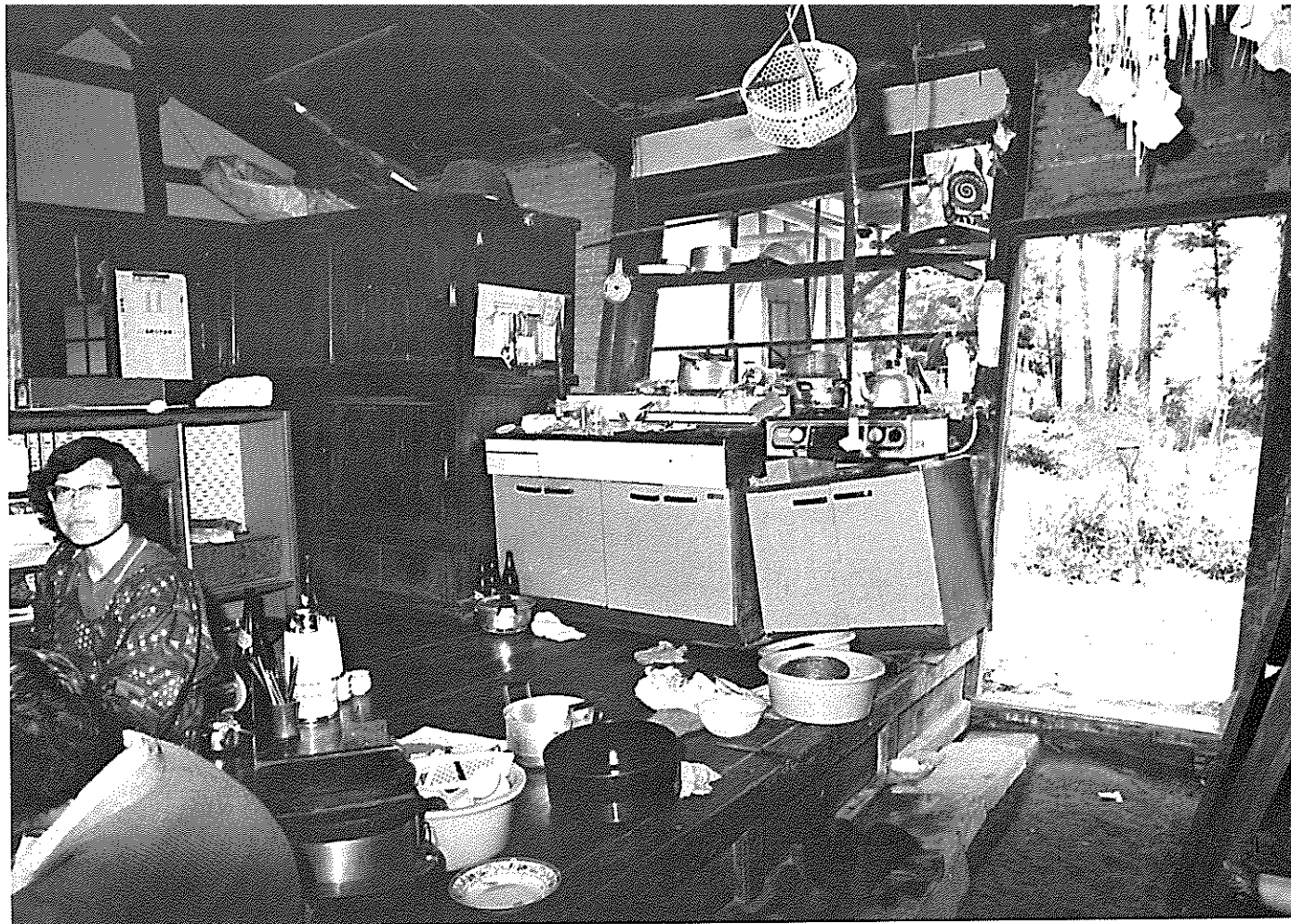
アパートも全壊した。（仙台市北根）

崩れ落ちた民家が道路をふさいだ。(迫町)



橋脚がずれた国鉄東北本線の江合川鉄橋（小牛田町）

民家内部、家全体が傾いている



一部破損の住家は125,375戸に達した。



破損を免れた住家も内部の被害は大きかった。
(古川市)

(5) 復旧

電気、水道、ガスなどの都市施設はもろくも破壊された。
陸上自衛隊の災害派遣



給水を受ける団地住民



水道の断水は県下広範囲に及んだ。





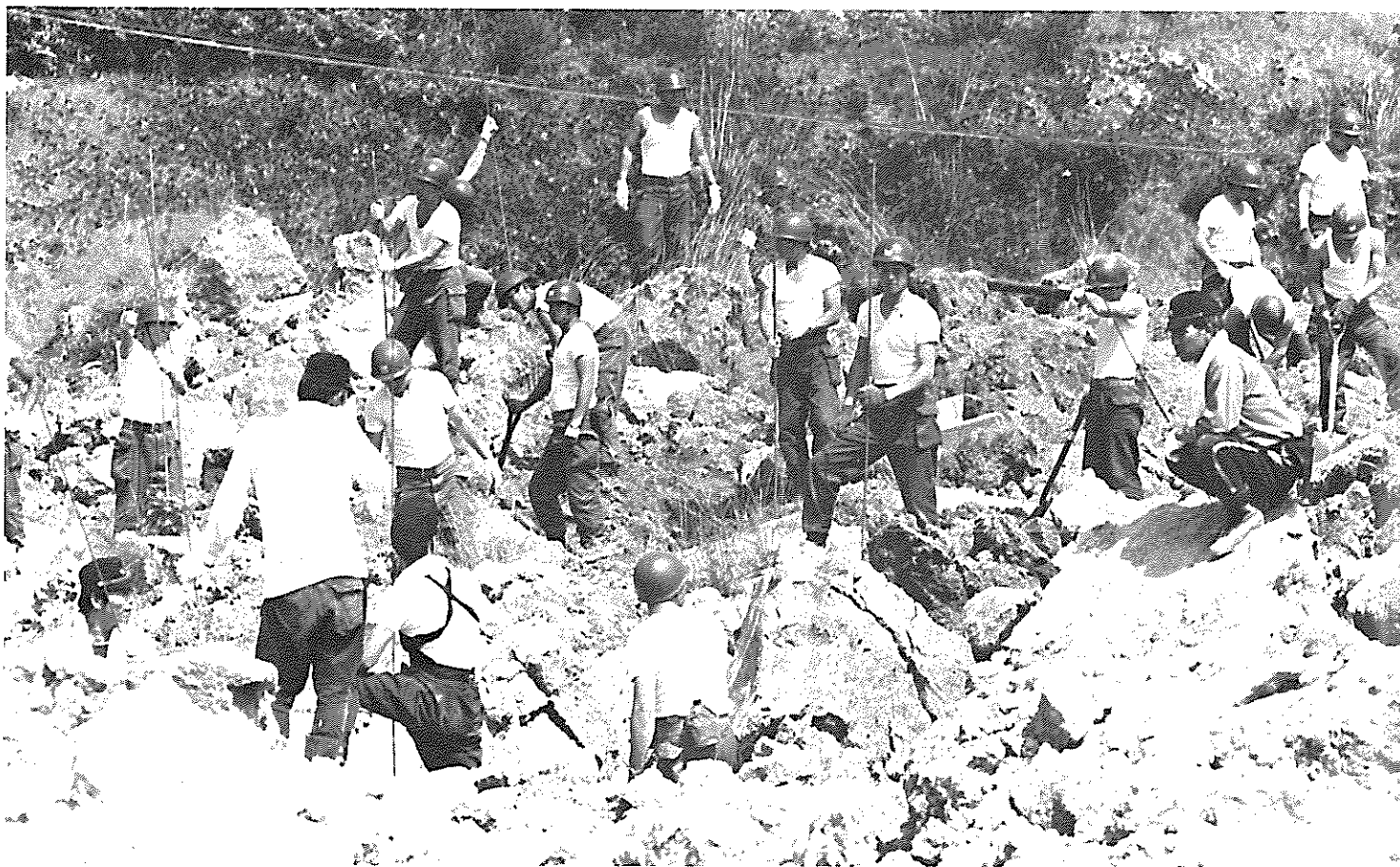
家を破壊され仮住いを余儀なくされる人々



崩れた石垣の復旧



崩れた壁もとりあえず応急修理で



自衛隊員による復旧作業



仙台市ガスの復旧には、他県からの援助も受け完了まで31日も費した。



ガス復旧だけで作業員の動員数は延26,000人を記録した。



鉄道の復旧も全力をあげて（仙石線・鳴瀬町）

県庁内に宮城県沖地震災害復興対策推進本部が設置された。



'78 宮城県沖地震
公共土木施設等被災写真集

1979年 3 月20日 発行

編集・発行 仙台市本町三丁目八番一号
宮城県土木部河川課

印 刷 今野平版印刷株式会社

